

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	社会福祉費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	1 目	社会福祉総務費		()		(3)	地域福祉の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P156	中 事 業		民生委員関係費		
事業コード		002-103-001-00371	事 業 名		民生委員・児童委員確保対策事業		
目的及び事業内容		<p>1 目 的 民生委員法及び児童福祉法に基づき、社会の奉仕者として厚生労働大臣から委嘱を受け、配置されている「民生委員・児童委員」の活動を推進し、社会福祉の向上を図る。</p> <p>2 事業内容 (1) 石巻市民生委員児童委員協議会への交付金を交付する。(事務局：市社協) (2) 石巻市民生委員推薦会を開催し後候補者を県に進達する。</p>					
取組実績		<p>石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金を交付した。</p> <p>1 石巻市民生委員児童委員協議会交付金 (1) 活動費 @38,700円×実数340人=13,158,000円 (2) その他の経費 離島船賃(日帰り往復) 田代島：28,800円、網地島：21,600円 計50,400円</p> <p>石巻市民生委員推薦会を開催した。</p> <p>1 石巻市民生委員推薦会開催費用 (1) 報 酬 152,000円 (2) 報償費 18,846円 (3) 旅 費 16,766円 (4) 役務費 13,300円</p>					
成 果		<p>社会福祉の向上を図るために、石巻市民生委員児童委員協議会へ交付金を交付し、石巻市民生委員児童委員協議会及び地区民児協が行う研修、活動に要する経費の一部として活用された。</p> <p>上記により、民生委員・児童委員としての職務遂行に必要な知識及び技術の習得により、地域の実態把握と福祉向上が図られた。</p> <p>また、民生委員推薦会を3回開催し、後候補者(民生委員12人、主任児童委員1人)を宮城県へ進達した。</p> <p>※ 民生委員・児童委員の欠員数 39人 (平成27年3月31日現在 復興公営住宅への配置予定定数10人を含む)</p>					
成果に係る評価		石巻市民生委員推薦会を開催し、後候補者を県に進達しており、民生委員・児童委員の活動を推進していく上で、この事業は継続する必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	14,844,646		13,409,312		64,000		13,345,312

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	復興計画	()	安心して健やかに暮らせるまち
	1 項	社会福祉費		第 1 節		()	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する
	1 目	社会福祉総務費		(1)		()	みんなで支えあう地域づくりを推進する
実施計画掲載ページ		P47	中 事 業		社会福祉関係係助成費		
事業コード		004-001-001-00089	事 業 名		社会福祉協議会運営費補助事業		
目的及び事業内容		<p>1 目 的 社会福祉協議会が行う事業、又はその運営費相当分に対し補助することにより、社会福祉の増進を図る。</p> <p>2 事業内容 社会福祉法人石巻市社会福祉協議会への運営費助成</p>					
取組実績		<p>《運営費助成》</p> <p>給 料 66,537,300円 職員諸手当 26,488,932円 共 済 費 20,577,819円 合 計 113,604,051円</p> <p>※社会福祉協議会職員(石巻本所及び各支所の事務職員)25人分の人件費相当額</p>					
成 果		地域福祉の総合的な支援機能を備えている社会福祉協議会に補助金を支出し、同法人の石巻市全域における社会福祉事業の効率的な運営と組織的な活動を推進することで、地域福祉の増進に寄与した。					
成果に係る評価		地域福祉の増進には欠かせない法人であり、きめ細かな福祉サービス提供のため継続が必要である。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	113,604,051		113,604,051				113,604,051

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第 節			()	
	1 目	社会福祉総務費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	地域福祉推進関係費				
事業コード			事 業 名	地域福祉計画策定事業				
目的及び事業内容		保健福祉施策の総括する計画として、また、市民と行政との協働を基盤として、各個別分野での取り組みを横断的かつ効果的に推進していくための指針として策定した地域福祉計画第2期(計画期間平成24～28年度)の推進を図る。						
取 組 実 績		<p>1 地域福祉委員会の開催</p> <p>(1) 開催日 平成26年7月16日(水) 第3回地域福祉委員会 内容：次世代育成行動計画についての報告、地域福祉に関するアンケート調査項目の協議 平成27年2月13日(金) 第4回地域福祉委員会 内容：地域福祉に関するアンケート調査結果報告、地域福祉計画(第2期)の進捗状況の報告</p> <p>(2) 経費 報酬 171,000 円 需用費 8,922 円 旅費 6,993 円 役務費 39,157 円</p> <p>2 出前講座(地域福祉のはなし)の開催 1回</p> <p>3 石巻市社会福祉協議会主催の地区座談会への出席 5回</p>						
成 果		平成25年3月に策定した地域福祉計画第2期(計画期間平成24～28年度)の進行管理及び個別計画の進捗状況の把握と推進を図った。また、石巻市社会福祉協議会(以下「社協」)主催の地区座談会へ市としても参加したことで、社協と一体となって市民へ地域福祉に係る啓発を行うことができた。						
成果に係る評価		今後は、第2期計画の進捗管理を図りながら、次期計画策定に取り組んでいく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	368,180	226,072				226,072		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	1 項	社会福祉費		第 節			()																			
	2 目	総合福祉会館費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業	うしお荘・みなと荘管理費																						
事業コード			事 業 名	総合福祉会館うしお荘・みなと荘運営事業																						
目的及び事業内容		市所有の施設について、地元の福祉団体協議会に管理運営を行ってもらうことにより、広く地域住民の利用に供し、もってサービスの向上を図る。また、施設の有効活用と、管理に係る経費の縮減を図る。																								
取 組 実 績		<p>1 指定管理者導入の指定期間 平成24年4月1日から平成28年3月31日まで(4年間)</p> <p>2 年間の利用状況 (1) うしお荘 開館日数 296日 施設利用者数 19,776人 (2) みなと荘 開館日数 337日 施設利用者数 31,510人</p> <p>3 施設の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>施設の名称</td> <td>総合福祉会館 うしお荘</td> <td>総合福祉会館 みなと荘</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>石巻市流留字七勺21番地</td> <td>石巻市湊町一丁目1番9号</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>年額 5,696,234円</td> <td>年額 5,463,664円</td> </tr> <tr> <td>施設内容</td> <td>大広間、談話室、和室(2)、会議室</td> <td>大広間、談話室、会議室(2)、図書コーナー、料理講習室、婦人教養室、児童集会室、老人娯楽室、遊戯室</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>無料</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>石巻市渡波地区福祉団体協議会</td> <td>石巻市湊地区福祉団体協議会</td> </tr> </table> <p>※ みなと荘は平成27年4月1日に複合施設として移転新築した。(所在地：石巻市八幡町一丁目6番22号)</p>							施設の名称	総合福祉会館 うしお荘	総合福祉会館 みなと荘	所在地	石巻市流留字七勺21番地	石巻市湊町一丁目1番9号	指定管理料	年額 5,696,234円	年額 5,463,664円	施設内容	大広間、談話室、和室(2)、会議室	大広間、談話室、会議室(2)、図書コーナー、料理講習室、婦人教養室、児童集会室、老人娯楽室、遊戯室	利用料	無料	無料	指定管理者	石巻市渡波地区福祉団体協議会	石巻市湊地区福祉団体協議会
施設の名称	総合福祉会館 うしお荘	総合福祉会館 みなと荘																								
所在地	石巻市流留字七勺21番地	石巻市湊町一丁目1番9号																								
指定管理料	年額 5,696,234円	年額 5,463,664円																								
施設内容	大広間、談話室、和室(2)、会議室	大広間、談話室、会議室(2)、図書コーナー、料理講習室、婦人教養室、児童集会室、老人娯楽室、遊戯室																								
利用料	無料	無料																								
指定管理者	石巻市渡波地区福祉団体協議会	石巻市湊地区福祉団体協議会																								
成 果		地域に密着した施設運営をすることにより、地域住民の健康増進、教養の向上及びレクリエーションなどにより、広く地域住民の利用に供することができ、福祉の増進が図られた。																								
成果に係る評価		指定管理者制度により、地域に密着した柔軟で円滑な施設運営が図られており、地域福祉の拠点施設として重要性が高まってきている。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	11,160,664	11,159,898				11,159,898																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																																
	3 目	障害者福祉費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																																
実施計画掲載ページ		P 73	中 事 業	障害者福祉費																																																			
事業コード		004-005-002-00107	事 業 名	障害者援護事業																																																			
目的及び事業内容		在宅障害者の自立更生と社会参加の促進を図る。 1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 2 身体障害者・知的障害者相談員設置 3 在宅障害者等社会参加促進助成券の交付 4 知的障害者グループホーム体験ステイ事業の実施 5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成 6 難聴児補聴器購入助成 7 重症心身障害児者短期入所施設利用支援事業																																																					
取組実績		1 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付事務 申請に基づき、県に対し各手帳の交付及び再判定等の進捗を行い、福祉事務所窓口において手帳を交付すると共に、手帳所持に伴う各種福祉サービス利用についての情報提供を行った。 2 身体障害者・知的障害者相談員設置 身体障害者相談員16名、知的障害者相談員2名を設置し、相談支援を行った。 3 在宅障害者等社会参加促進助成券（タクシー券・自動車燃料券） 在宅障害者等の移動を支援し、社会参加を促進した。 4 知的障害者グループホーム体験ステイの推進 事業を実施した委託事業所に対し、事業の実績に応じ、扶助費として費用の支払いを行った。 5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成（身体障害者手帳：呼吸器機能障害4級以上の者に限る。） 居室において酸素濃縮器の使用に要する電気料について、助成金を交付した。 6 難聴児補聴器購入助成 身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対し、補聴器の購入に要する費用の一部を助成した。 7 重症心身障害児者短期入所施設利用支援事業 重症心身障害児者に対し、圏域外の短期入所施設を利用した際の自己負担額の一部を助成した。																																																					
成 果		身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者に対して関係機関との連絡調整により必要な各種福祉サービス利用についての情報提供を行うことができた。 また、相談支援及び各種援護事業やグループホーム体験ステイ等の援護を行ったことにより、障害者の地域における自立と社会参加の促進が図られた。 1 各種手帳の交付状況 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">身体</th> <th rowspan="2">区分</th> <th>視覚障害</th> <th>聴覚・言語障害</th> <th>肢体不自由</th> <th>内部障害</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <td>所持者数</td> <td>394人</td> <td>524人</td> <td>2,866人</td> <td>2,195人</td> <td>5,979人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="3">療育</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">A（最重・重度）</th> <th colspan="3">B（中・軽度）</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>18歳未満</th> <th>18歳以上</th> <th>計</th> <th>18歳未満</th> <th>18歳以上</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>所持者数</td> <td>79人</td> <td>465人</td> <td>544人</td> <td>175人</td> <td>446人</td> <td>621人</td> <td>1,165人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">精神</th> <th rowspan="2">区分</th> <th>1級</th> <th>2級</th> <th>3級</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <td>所持者数</td> <td>163人</td> <td>468人</td> <td>227人</td> <td>858人</td> </tr> </table> 2 各相談員の設置状況 身体障害者相談員 16人 知的障害者相談員 2人 報償費合計 440,640円 3 在宅障害者等社会参加促進助成券（タクシー・自動車燃料券） 交付者3,091人 助成総額 46,689,500円 4 知的障害者グループホーム体験ステイ推進事業利用状況 利用者数 14人 利用日数 56泊 扶助費総額 522,200円 5 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成状況 助成人数 144人 助成総額 2,544,000円 6 難聴児補聴器購入助成状況 交付 4件 修理 1件 計 5件 助成総額 304,000円 7 重症心身障害児者短期入所施設利用支援 利用者 2人 3件 助成総額 30,932円							身体	区分	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	内部障害	計	所持者数	394人	524人	2,866人	2,195人	5,979人	療育	区分	A（最重・重度）			B（中・軽度）			合計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	所持者数	79人	465人	544人	175人	446人	621人	1,165人	精神	区分	1級	2級	3級	計	所持者数	163人	468人	227人	858人
身体	区分	視覚障害	聴覚・言語障害	肢体不自由	内部障害	計																																																	
		所持者数	394人	524人	2,866人		2,195人	5,979人																																															
療育	区分	A（最重・重度）			B（中・軽度）			合計																																															
		18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計																																																
	所持者数	79人	465人	544人	175人	446人	621人	1,165人																																															
精神	区分	1級	2級	3級	計																																																		
		所持者数	163人	468人		227人	858人																																																
成果に係る評価		障害者本人や家族の高齢化が進んでいるため、今後もそれぞれのニーズを把握して適切な支援を行うように取り組んでいく必要がある。 （単位：円）																																																					
予算の執行状況		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>60,999,000</td> <td>50,531,272</td> <td>1,286,000</td> <td></td> <td></td> <td>49,245,272</td> </tr> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	60,999,000	50,531,272	1,286,000			49,245,272																															
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
60,999,000	50,531,272	1,286,000			49,245,272																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																															
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																															
	4 目	障害者自立支援費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																															
実施計画掲載ページ		P 74	中 事 業	自立支援給付費																																		
事業コード		004-005-002-00108	事 業 名	障害者自立支援給付事業																																		
目的及び事業内容		障害児を含む身体・知的・精神障害者に対し下記の福祉サービスを実施する。 1 介護給付（ホームヘルプ、行動援護、療養介護、生活介護、短期入所、ケアホーム、施設入所支援等） 2 訓練等給付（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、グループホーム） 3 補装具給付（身体障害者、障害児に対する補装具給付） 4 自立支援医療給付（身体障害者に対する更生医療給付及び障害児に対する育成医療給付）																																				
取組実績		1 障害福祉サービス給付費（介護給付・訓練等給付） 障害者及び障害児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用された障害福祉サービスについてサービス提供事業所へ介護・訓練等給付費を支給 2 補装具給付 身体障害者及び身体障害児の機能障害を補い、日常生活を容易にするため、補聴器、義肢、装具、車イス等の厚生労働大臣が定めた補装具の交付及び修理 3 自立支援医療給付（更生医療・育成医療） 身体障害者手帳所持者（18歳以上）で、更生医療の給付が必要と判定された方及び児童福祉法第4条第2項に規定する障害児（18歳未満）で、指定医療機関における障害程度の軽減、除去又は障害の進行を防ぐための治療に要する医療費の一部を支給																																				
成 果		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者及び障害児に対し各種障害福祉サービス利用のための援護を行ったことにより、自立生活と社会参加を促進し、障害者等の生活の安定と福祉の向上が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>分 類</th> <th>事業所数</th> <th>実利用者</th> <th>利用量</th> <th>介護・訓練等給付費</th> </tr> <tr> <td>居宅介護サービス等</td> <td>37</td> <td>276人</td> <td>49,450.3h</td> <td>165,457,917円</td> </tr> <tr> <td>日中活動系サービス等・居住系（GH・CH施設入所）サービス等</td> <td>246</td> <td>1490人</td> <td>268,222日</td> <td>1,697,528,131円</td> </tr> <tr> <td>サービス計画作成費</td> <td>26</td> <td>554人</td> <td>917件</td> <td>13,533,872円</td> </tr> <tr> <td>特定障害者特別給付</td> <td>85</td> <td>265人</td> <td></td> <td>37,425,584円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,913,945,504円</td> </tr> </table> ※GH：グループホーム、CH：ケアホーム 2 補装具給付実績 (1) 義肢装具 76件、車いす 72件、補聴器 83件、その他 58件 計 289件(交付 176件、修理 113件) (2) 給付額 29,845,641円(交付 24,797,065円、修理 5,048,576円) 3 自立支援医療給付実績 更生医療 (1) 心臓 3人、腎臓 553人、肢体 10人、免疫 3人、小腸 1人 計 570人 (2) 公費負担額 195,041,560円 育成医療 (1) 視覚 3人、聴覚・平衡 1人、音声・言語・咀嚼 4人、肢体 5人、心臓 1人、その他 10人 計 24人 (2) 公費負担額 825,785円 4 高額障害福祉サービス給付実績 64件 817,493円 5 療養介護医療 28件 24,217,210円							分 類	事業所数	実利用者	利用量	介護・訓練等給付費	居宅介護サービス等	37	276人	49,450.3h	165,457,917円	日中活動系サービス等・居住系（GH・CH施設入所）サービス等	246	1490人	268,222日	1,697,528,131円	サービス計画作成費	26	554人	917件	13,533,872円	特定障害者特別給付	85	265人		37,425,584円	計	-	-	-	1,913,945,504円
分 類	事業所数	実利用者	利用量	介護・訓練等給付費																																		
居宅介護サービス等	37	276人	49,450.3h	165,457,917円																																		
日中活動系サービス等・居住系（GH・CH施設入所）サービス等	246	1490人	268,222日	1,697,528,131円																																		
サービス計画作成費	26	554人	917件	13,533,872円																																		
特定障害者特別給付	85	265人		37,425,584円																																		
計	-	-	-	1,913,945,504円																																		
成果に係る評価		今後も障害児者がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように必要なサービスの給付を行うとともに、適正なサービス提供が行われるよう事業所への指導も継続していく必要がある。 （単位：円）																																				
予算の執行状況		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>2,257,959,000</td> <td>2,164,693,193</td> <td>1,707,554,611</td> <td></td> <td></td> <td>457,138,582</td> </tr> </table>							予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	2,257,959,000	2,164,693,193	1,707,554,611			457,138,582														
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
2,257,959,000	2,164,693,193	1,707,554,611			457,138,582																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()	
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()	
実施計画掲載ページ		P74	中 事業	相談支援事業費				
事業コード		004-005-002-00110	事業名	相談支援事業				
目的及び事業内容		障害者支援専門の相談窓口を設置し、障害者及び障害者の介護を行う者並びに障害児の保護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行う。 1 障害者相談事業 2 住宅入居等支援事業 3 相談支援機能強化事業 4 成年後見制度利用支援事業 5 精神障害者コミュニティサロン運営事業						
取組実績		<p>1 指定相談支援事業所に委託して、次の各事業を実施した。</p> <p>(1) 障害者相談支援事業 障害者等からの相談に応じ、必要な情報提供、福祉サービスの利用援助、社会資源活用の支援、社会生活力を高めるための支援、関係機関への紹介等、必要な相談援助を行った。</p> <p>(2) 住宅入居等支援事業（H26利用実績なし） 賃貸住宅への入居を希望しても、保証人がいない等により入居が困難な知的障害者又は精神障害者（共同生活援助、共同生活介護の利用者を除く。）に対し、入居に必要な調整等を行う。</p> <p>(3) 相談支援機能強化事業 相談支援事業を円滑に実施するため、特に必要と認められる能力を有する専門的職員を配置し、専門的知識を必要とする困難ケース等に対応した。</p> <p>(4) 成年後見制度利用支援事業 成年後見に関する相談に応じ、任意後見や法定後見について相談支援を行った。</p> <p>(5) 精神障害者コミュニティサロン運営事業 利用者が、創作活動、レクリエーション等の各種活動を行い、指導員は、利用者の精神障害の状況、病状、活動意欲等に応じた生活相談、生活指導、社会復帰や自立に向けての支援を行った。</p> <p>2 地域の相談支援事業所（3か所）を包括する「基幹相談支援センター」を平成26年4月1日から設置し、福祉サービス利用援助、権利擁護、社会参加の促進、地域生活における自立支援等、障害者等の生活の安定と福祉の向上のため相談業務を行っている。</p>						
成果		<p><相談支援実績件数></p> <p>1 相談支援事業の実施体制 委託相談支援事業所 4か所</p> <p>2 相談の方法 訪問相談2,508件、 来所相談788件、 同行相談423件、 電話相談3,241件 個別支援会議341件、 関係機関1,084件、 その他149件 合計8,534件</p> <p>3 相談内容 福祉サービス利用に関すること 5,344件、健康・医療に関すること 2,173件、 家計・経済に関すること 764件、家族関係・人間関係に関すること 1,375件、 就労に関すること 946件、その他 5,894件 合計 16,496件</p> <p><成年後見制度実利用者数></p> <p>1 市長申し立て件数 3件</p> <p><精神障害者コミュニティサロン実利用者数></p> <p>1 利用決定障害者数 88人 (H25 = 82人) 2 1日平均利用者数 16.5人 (H25 =12.9人)</p>						
成果に係る評価		成年後見制度利用支援事業により障害者の権利擁護に努めるとともに、コミュニティサロンを利用することにより引きこもりがちな精神障害者の社会参加のきっかけづくりの場所として、今後も継続する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	80,286,000		69,913,343		17,647,435			52,265,908

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																									
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																																																																																																																									
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																																																																																																																									
実施計画掲載ページ		P75	中 事業	日常生活用具給付等事業費																																																																																																																																												
事業コード		004-005-002-00112	事業名	日常生活用具給付等事業																																																																																																																																												
目的及び事業内容		日常生活上の便宜を図るため、重度障害者(児)に対し日常生活用具(介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具、住宅改修費)を給付又は貸与する。対象者は、重度の身体障害者(児)、知的障害者(児)、精神障害者又は難病患者であつて、当該用具を必要とするもの。																																																																																																																																														
取組実績		<p>日常生活用具の給付</p> <p>1 介護・訓練用具 2 自立生活支援用具 3 在宅療養等支援用具 4 情報・意思疎通支援用具 5 排泄管理支援用具 6 住宅改修</p>																																																																																																																																														
成果		<p>日常生活上の便宜を図るため、重度障害者等に介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具等、各種、日常生活用具の給付を行い、日常生活における自立の支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">給付件数</th> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">件数</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>区分</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊寝台</td> <td>6</td> <td>盲人用体重計</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊マット</td> <td>5(2)</td> <td>動脈血中酸素飽和度測定器</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>体位変換器</td> <td>1</td> <td>携帯用会話補助装置</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動用リフト</td> <td>1</td> <td>情報・通信支援用具</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入浴担架</td> <td>1(1)</td> <td>電磁調理器</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入浴補助用具</td> <td>12(2)</td> <td>視覚障害者用ポータブルレコーダー</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩行補助つえ(一本杖)</td> <td>5</td> <td>視覚障害者用地デジ対応ラジオ</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>移動・移乗支援用具</td> <td>6</td> <td>視覚障害者用拡大読書器</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>頭部保護帽</td> <td>4(1)</td> <td>盲人用時計</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火災警報器</td> <td>1</td> <td>人工喉頭</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>聴覚障害者屋内信号装置</td> <td>2</td> <td>ストーマ器具等</td> <td>3,168</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸引・吸入両用器</td> <td>2(2)</td> <td>紙おむつ等</td> <td>351(246)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ネブライザー(吸入器)</td> <td>1</td> <td>収尿器</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気式たん吸引器</td> <td>13</td> <td>居宅生活動作補助用具(住宅改修)</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>盲人用体温計</td> <td>5</td> <td>計</td> <td>3,651(254)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ()内は、18歳未満の児童の件数を再掲した。</p>							給付件数		区分		区分		件数		区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数	特殊寝台	6	盲人用体重計	3					特殊マット	5(2)	動脈血中酸素飽和度測定器	40					体位変換器	1	携帯用会話補助装置	1					移動用リフト	1	情報・通信支援用具	2					入浴担架	1(1)	電磁調理器	1					入浴補助用具	12(2)	視覚障害者用ポータブルレコーダー	2					歩行補助つえ(一本杖)	5	視覚障害者用地デジ対応ラジオ	5					移動・移乗支援用具	6	視覚障害者用拡大読書器	4					頭部保護帽	4(1)	盲人用時計	3					火災警報器	1	人工喉頭	1					聴覚障害者屋内信号装置	2	ストーマ器具等	3,168					吸引・吸入両用器	2(2)	紙おむつ等	351(246)					ネブライザー(吸入器)	1	収尿器	3					電気式たん吸引器	13	居宅生活動作補助用具(住宅改修)	2					盲人用体温計	5	計	3,651(254)				
給付件数		区分		区分		件数																																																																																																																																										
区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数																																																																																																																																									
特殊寝台	6	盲人用体重計	3																																																																																																																																													
特殊マット	5(2)	動脈血中酸素飽和度測定器	40																																																																																																																																													
体位変換器	1	携帯用会話補助装置	1																																																																																																																																													
移動用リフト	1	情報・通信支援用具	2																																																																																																																																													
入浴担架	1(1)	電磁調理器	1																																																																																																																																													
入浴補助用具	12(2)	視覚障害者用ポータブルレコーダー	2																																																																																																																																													
歩行補助つえ(一本杖)	5	視覚障害者用地デジ対応ラジオ	5																																																																																																																																													
移動・移乗支援用具	6	視覚障害者用拡大読書器	4																																																																																																																																													
頭部保護帽	4(1)	盲人用時計	3																																																																																																																																													
火災警報器	1	人工喉頭	1																																																																																																																																													
聴覚障害者屋内信号装置	2	ストーマ器具等	3,168																																																																																																																																													
吸引・吸入両用器	2(2)	紙おむつ等	351(246)																																																																																																																																													
ネブライザー(吸入器)	1	収尿器	3																																																																																																																																													
電気式たん吸引器	13	居宅生活動作補助用具(住宅改修)	2																																																																																																																																													
盲人用体温計	5	計	3,651(254)																																																																																																																																													
成果に係る評価		今後も、需要の増加が見込まれることから、関係機関と連携しながら障害者ひとり一人の特性やニーズ等を的確に把握し、必要に応じ基準の見直しを図りながら取り組む必要がある。																																																																																																																																														
(単位：円)																																																																																																																																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																																																																																																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																								
	39,936,000		37,392,353		18,228,771			19,163,582																																																																																																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()													
	5 目	地域生活支援事業費		(4)	「だれもが暮らしやすい」まちづくりを推進する		()													
実施計画掲載ページ		P 77		中 事 業	移動支援事業費															
事業コード		004-005-004-00113		事 業 名	障害者移動支援事業															
目的及び事業内容		屋外での移動が困難な障害者及び障害児について、外出のための支援を行うことにより、障害者等の地域での自立生活及び社会参加を促進する。移動支援事業の内容は、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出（原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限る。）に対し行う個別移動支援及びグループ移動支援としている。																		
取組実績		個別に支援が必要な障害者等の外出に対しヘルパーを派遣し移動の支援を行う個別移動支援と、複数の障害者等のグループの外出に対しヘルパーを派遣し移動の支援を行うグループ移動支援を行った。																		
成 果		<p>屋外での移動が困難な障害者及び障害児に対する移動支援サービスを提供することにより、障害者等の地域での自立生活や、社会参加の促進が図られた。</p> <p>移動支援サービス提供事業所数 14か所</p> <p><平成26年度移動支援の件数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>サービス実利用人数</th> <th>サービス利用実績（時間数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 個別移動支援</td> <td>88人（うち児童 13人）</td> <td>4,509.0 時間（うち児童 478.0時間）</td> </tr> <tr> <td>2 グループ移動支援</td> <td>29人（うち児童 0人）</td> <td>237.0 時間（うち児童 0.0時間）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>117人（うち児童 13人）</td> <td>4,746.0 時間（うち児童 478.0時間）</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	サービス実利用人数	サービス利用実績（時間数）	1 個別移動支援	88人（うち児童 13人）	4,509.0 時間（うち児童 478.0時間）	2 グループ移動支援	29人（うち児童 0人）	237.0 時間（うち児童 0.0時間）	計	117人（うち児童 13人）	4,746.0 時間（うち児童 478.0時間）
区 分	サービス実利用人数	サービス利用実績（時間数）																		
1 個別移動支援	88人（うち児童 13人）	4,509.0 時間（うち児童 478.0時間）																		
2 グループ移動支援	29人（うち児童 0人）	237.0 時間（うち児童 0.0時間）																		
計	117人（うち児童 13人）	4,746.0 時間（うち児童 478.0時間）																		
成果に係る評価		今後も積極的に障害者及び障害児の地域における自立生活及び社会参加を促進するためサービス提供事業所を確保し、その機会の充実に取り組む必要がある。																		
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	13,416,000		12,147,272		5,921,794			6,225,478												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																										
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																																																										
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																																																										
実施計画掲載ページ		P 75		中 事 業	地域活動支援センター費																																																												
事業コード		004-005-002-00114		事 業 名	地域活動支援センター事業																																																												
目的及び事業内容		地域の実情に応じ、障害者等の通所による創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターの利用に伴う給付を行い、障害者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とする。																																																															
取組実績		<p>1 基礎的事業 通所による創作的活動、生産活動及び社会との交流機会を提供</p> <p>2 機能強化事業 基礎的事業に加えて、通所による援護事業への支援を強化するほか、地域において雇用・就労が困難な在宅障害者に対し、機能訓練、社会適応訓練等の事業を実施</p> <p>3 送迎支援 自宅から事業所までの送迎に係る支援</p>																																																															
成 果		<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による通所サービス以外の日中活動の場として、地域活動支援センター事業を実施することにより、障害の程度や活動内容等の選択がより可能となり、利用者の創作的活動・生産活動及び地域社会との交流が図られた。</p> <p>地域活動支援センター利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">定員</th> <th colspan="3">実利用人数</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者地域活動支援センター「みどり園」</td> <td></td> <td>10人</td> <td>35人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>障害者地域活動支援センター「かしわホーム」</td> <td></td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>障害者地域活動支援センター「はまなす」</td> <td></td> <td>10人</td> <td>5人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>障害者地域活動支援センター「希望の里」</td> <td></td> <td>15人</td> <td>8人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>障害者地域活動支援センター「コスモス」</td> <td></td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>14人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>障害者地域活動支援センター「こころ・さをり」</td> <td></td> <td>10人</td> <td>13人</td> <td>17人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>女川町地域活動支援センター</td> <td></td> <td>14人</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>79人</td> <td>80人</td> <td>42人</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※障害者地域活動支援センター「はまなす」「希望の里」は平成27.4.1～事業の廃止が決定している。</p> <p>※障害者地域活動支援センター「みどり園」「かしわホーム」は平成25.4.1～地域支援センターのほか就労継続支援B型の法定施設を併設している。</p>							名 称	区 分	定員	実利用人数			H24	H25	H26	障害者地域活動支援センター「みどり園」		10人	35人	6人	6人	障害者地域活動支援センター「かしわホーム」		10人	10人	4人	9人	障害者地域活動支援センター「はまなす」		10人	5人	-	-	障害者地域活動支援センター「希望の里」		15人	8人	-	-	障害者地域活動支援センター「コスモス」		10人	9人	14人	13人	障害者地域活動支援センター「こころ・さをり」		10人	13人	17人	14人	女川町地域活動支援センター		14人	-	1人	2人			79人	80人	42人	44人
名 称	区 分	定員	実利用人数																																																														
			H24	H25	H26																																																												
障害者地域活動支援センター「みどり園」		10人	35人	6人	6人																																																												
障害者地域活動支援センター「かしわホーム」		10人	10人	4人	9人																																																												
障害者地域活動支援センター「はまなす」		10人	5人	-	-																																																												
障害者地域活動支援センター「希望の里」		15人	8人	-	-																																																												
障害者地域活動支援センター「コスモス」		10人	9人	14人	13人																																																												
障害者地域活動支援センター「こころ・さをり」		10人	13人	17人	14人																																																												
女川町地域活動支援センター		14人	-	1人	2人																																																												
		79人	80人	42人	44人																																																												
成果に係る評価		今後も障害者等の地域生活支援の促進のため、需要に応じた事業所（支援センター）の環境整備に努めていく必要がある。																																																															
（単位：円）																																																																	
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																												
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
	35,928,000		34,276,000		6,711,767			27,564,233																																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																			
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																			
	5 目	地域生活支援事業費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																			
実施計画掲載ページ		P 76	中 事 業		生活支援事業費																					
事業コード		004-005-002-00116	事 業 名		生活支援事業																					
目的及び事業内容		障害者が地域社会で自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な事業を、地域の実情にあわせて内容で行う。 1 社会参加促進事業補助 2 訪問入浴サービス事業 3 日中一時支援事業扶助費 4 障害者自動車改造運転免許取得費助成金 5 声の市報製作 6 手話奉仕員養成講座など																								
取組実績		1 社会参加促進事業補助…事業費補助金の交付により社会参加促進事業を奨励した。 2 訪問入浴サービス事業…訪問入浴により重度障害者等の心身の衛生向上を図った。 3 日中一時支援事業扶助費…日中の一時預かりにより、家族の介護負担を軽減した。 4 障害者自動車改造運転免許取得費助成金…自動車改造や運転免許取得にかかる費用の一部を助成し、身体障害者の自立を支援した。 5 声の市報製作(業務委託)…情報が「リァリ」の一環として、視覚障害者に声の市報を配付した。 6 手話奉仕員養成講座…手話奉仕員を養成するため、手話奉仕員養成講座を開催した。																								
成 果		地域生活支援事業の各種事業の実施により、社会参加の促進、地域生活における自立支援等、障害者の生活の安定と福祉の向上が図られた。 <table border="0"> <tr> <td>1 社会参加促進事業補助</td> <td>補助件数 6件 (5団体)</td> <td>助成総額 299,926 円</td> </tr> <tr> <td>2 訪問入浴サービス事業</td> <td>利用実人員29人</td> <td>延べ1,445回利用</td> </tr> <tr> <td>3 日中一時支援事業扶助費</td> <td>利用実人員203人</td> <td>延べ9,129日利用</td> </tr> <tr> <td>4 障害者自動車改造運転免許取得費助成金</td> <td>自動車改造 6台</td> <td>運転免許取得 5人</td> </tr> <tr> <td>5 声の市報製作(業務委託)</td> <td>実利用者数19人</td> <td>助成総額 891,000 円</td> </tr> <tr> <td>6 手話奉仕員養成講座 (入門課程)</td> <td>受講者40人、修了者30人</td> <td>助成総額 467,917 円</td> </tr> </table>							1 社会参加促進事業補助	補助件数 6件 (5団体)	助成総額 299,926 円	2 訪問入浴サービス事業	利用実人員29人	延べ1,445回利用	3 日中一時支援事業扶助費	利用実人員203人	延べ9,129日利用	4 障害者自動車改造運転免許取得費助成金	自動車改造 6台	運転免許取得 5人	5 声の市報製作(業務委託)	実利用者数19人	助成総額 891,000 円	6 手話奉仕員養成講座 (入門課程)	受講者40人、修了者30人	助成総額 467,917 円
1 社会参加促進事業補助	補助件数 6件 (5団体)	助成総額 299,926 円																								
2 訪問入浴サービス事業	利用実人員29人	延べ1,445回利用																								
3 日中一時支援事業扶助費	利用実人員203人	延べ9,129日利用																								
4 障害者自動車改造運転免許取得費助成金	自動車改造 6台	運転免許取得 5人																								
5 声の市報製作(業務委託)	実利用者数19人	助成総額 891,000 円																								
6 手話奉仕員養成講座 (入門課程)	受講者40人、修了者30人	助成総額 467,917 円																								
成果に係る評価		今後も、地域の実情に沿った内容で障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な事業の実施に取り組む必要がある。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	56,364,600		52,247,778		25,421,874			26,825,904																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																					
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																					
	6 目	特別障害者手当等措置費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																					
実施計画掲載ページ		P 76	中 事 業		特別障害者手当等措置費																							
事業コード		004-005-002-00117	事 業 名		特別障害者手当等措置事業																							
目的及び事業内容		特別児童扶養手当等の支給に関する法律等に基づき、精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当等を支給することにより、福祉の増進を図る。 1 特別障害者手当制度 2 障害児福祉手当制度 3 経過的福祉手当制度																										
取組実績		1 市報に掲載し、啓発を行った。 2 手帳交付時及び各種障害福祉サービス等の更新時において、重度の障害者については、手当の支給要件の説明を行い、障害者の状態によっては、細かな聞き取り等を行い、支給認定を促した。 3 毎年度行う現況届において、障害区分の状態や、入院・施設入所の有無及び所得状況等の確認を行った。																										
成 果		精神又は身体に著しく障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする者に、特別障害者手当等を支給することにより福祉の向上(経済的支援)が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別障害者手当</td> <td>42,457,280円 1,616件</td> <td>44,117,800円 1,684件</td> <td>46,952,720円 1,806件</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当</td> <td>11,387,760円 797件</td> <td>10,797,840円 758件</td> <td>10,850,540円 773件</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当</td> <td>700,320円 49件</td> <td>170,960円 12件</td> <td>0円 0件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>54,545,360円 2,462件</td> <td>55,086,600円 2,454件</td> <td>57,803,260円 2,579件</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H24	H25	H26	特別障害者手当	42,457,280円 1,616件	44,117,800円 1,684件	46,952,720円 1,806件	障害児福祉手当	11,387,760円 797件	10,797,840円 758件	10,850,540円 773件	経過的福祉手当	700,320円 49件	170,960円 12件	0円 0件	計	54,545,360円 2,462件	55,086,600円 2,454件	57,803,260円 2,579件
区 分	H24	H25	H26																									
特別障害者手当	42,457,280円 1,616件	44,117,800円 1,684件	46,952,720円 1,806件																									
障害児福祉手当	11,387,760円 797件	10,797,840円 758件	10,850,540円 773件																									
経過的福祉手当	700,320円 49件	170,960円 12件	0円 0件																									
計	54,545,360円 2,462件	55,086,600円 2,454件	57,803,260円 2,579件																									
成果に係る評価		今後も重度の障害児者が在宅生活を維持するための経済的支援として、継続する必要がある。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	59,026,000		57,803,260		43,460,550			14,342,710																				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	社会福祉費		第5節	自立し、いきいき暮らせる障がい者福祉の充実を図る		()																	
	7 目	心身障害者医療対策費		(2)	暮らしやすい生活環境を構築する		()																	
実施計画掲載ページ		P76	中 事 業	心身障害者医療対策費																				
事業コード		004-005-002-00119	事 業 名	心身障害者医療対策事業																				
目的及び事業内容		<p>重度心身障害者等の医療費を助成することにより、重度心身障害者等の生活の安定を図る。重度心身障害者については、助成対象者に係る医療費（入院時食事療養費を除く。）のうち社会保険各法に定める一部負担金（各法による公費負担額、高額療養費、附加給付額を控除した額）を対象者又はその保護者に助成する。</p> <p>中度心身障害者（特別児童扶養手当2級該当者）については、一部負担金の95%の額を助成する。</p>																						
取組実績		<p>1 重・中度心身障害者医療費助成の実施 重度心身障害者及び中度心身障害者にかかる医療費の一部を助成することにより、適正な医療の機会を確保するとともに経済的負担の軽減を図った。</p> <p>2 重・中度心身障害者医療費助成受給資格更新事務の実施 重・中度心身障害者医療費助成受給資格を前年度の所得を基に見直し、受給資格の適正化を図った。</p>																						
成 果		<p>本事業の実施により、重・中度心身障害者に対し、適正な医療の機会を確保するとともに経済的負担の軽減が図られ、受給者に必要な医療が確保された。</p> <p>平成25年度から年度ごとの更新申請を不要とする様式の変更を行い、手続きを簡便化したことにより対象者の負担軽減及び福祉の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重度心身障害者対象者数</td> <td>3,485人 (うち停止中1,527人)</td> <td>3,507人</td> <td>3,596人 (うち停止中691人)</td> </tr> <tr> <td>中度心身障害者対象者数</td> <td>115人 (うち停止中 53人)</td> <td>108人</td> <td>122人 (うち停止中 8人)</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td>181,259,266円</td> <td>290,254,475円</td> <td>273,819,250円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内は震災による医療費減免により助成停止中の人数</p>							主な指標項目	H24	H25	H26	重度心身障害者対象者数	3,485人 (うち停止中1,527人)	3,507人	3,596人 (うち停止中691人)	中度心身障害者対象者数	115人 (うち停止中 53人)	108人	122人 (うち停止中 8人)	助成額	181,259,266円	290,254,475円	273,819,250円
主な指標項目	H24	H25	H26																					
重度心身障害者対象者数	3,485人 (うち停止中1,527人)	3,507人	3,596人 (うち停止中691人)																					
中度心身障害者対象者数	115人 (うち停止中 53人)	108人	122人 (うち停止中 8人)																					
助成額	181,259,266円	290,254,475円	273,819,250円																					
成果に係る評価		<p>平成26年度は、一部（国保・後期高齢医療）の医療費免除が再開されたため助成額が減額しているが、対象者は年々増えているため今後も助成額の増大が見込まれる。</p> <p>今後も、適正な医療の確保ができる等福祉の向上のため事業を継続する必要がある。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	279,974,000	273,819,250	135,994,000		678,420	137,146,830																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																										
	1 項	社会福祉費		第2節	生涯を通じて元気で健康な暮らしが実現できるようにする		()																																																																																										
	8 目	子ども医療対策費		(1)	一人ひとりの健康づくりを推進する		()																																																																																										
実施計画掲載ページ		P53	小 事 業	子ども医療対策費																																																																																													
事業コード		004-002-001-00074	事 業 名	子ども医療費助成事業																																																																																													
目的及び事業内容		<p>子どもに対し適正な医療の機会を確保し、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減を図る。出生から小学6年生（12歳に達する年度の末日にある者）までの入院・通院及び中学3年生（15歳に達する年度の末日にある者）までの入院に係る医療費の一部負担金を助成する。</p>																																																																																															
取組実績		<p>1 小学6年生までの入院・通院及び中学3年生までの入院に係る医療費の一部負担金を助成した。</p> <p>2 制度の周知徹底を図るため、ホームページ及び市報による周知のほか、未申請者に対し郵送により申請案内を行った。</p> <p style="text-align: center;">受給対象者内訳 (平成27年3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受給対象者数</td> <td>18,867人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>受給者数</td> <td>15,848人</td> <td>84.0%</td> </tr> <tr> <td>非該当者数</td> <td>2,063人</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>未申請者数</td> <td>956人</td> <td>5.1%</td> </tr> </tbody> </table>							項目	人数	割合	受給対象者数	18,867人	—	受給者数	15,848人	84.0%	非該当者数	2,063人	10.9%	未申請者数	956人	5.1%																																																																										
項目	人数	割合																																																																																															
受給対象者数	18,867人	—																																																																																															
受給者数	15,848人	84.0%																																																																																															
非該当者数	2,063人	10.9%																																																																																															
未申請者数	956人	5.1%																																																																																															
成 果		<p>子育て世代の経済的負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">受給者数(人)</th> <th colspan="2">県補助対象</th> <th colspan="2">独自拡大</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>助成額(円)</th> <th>件数</th> <th>助成額(円)</th> <th>件数</th> <th>助成額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H24</td> <td>国保</td> <td>3,433</td> <td>6,901</td> <td>12,889,349</td> <td>16,126</td> <td>27,448,004</td> <td>23,027</td> <td>40,337,353</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>10,148</td> <td>33,288</td> <td>62,150,037</td> <td>84,392</td> <td>145,233,646</td> <td>117,680</td> <td>207,383,683</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,581</td> <td>40,189</td> <td>75,039,386</td> <td>100,518</td> <td>172,681,650</td> <td>140,707</td> <td>247,721,036</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H25</td> <td>国保</td> <td>3,909</td> <td>11,445</td> <td>21,555,032</td> <td>27,618</td> <td>49,200,525</td> <td>39,063</td> <td>70,755,557</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>12,321</td> <td>42,374</td> <td>78,160,860</td> <td>111,251</td> <td>195,427,084</td> <td>153,625</td> <td>273,587,944</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,230</td> <td>53,819</td> <td>99,715,892</td> <td>138,869</td> <td>244,627,609</td> <td>192,688</td> <td>344,343,501</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H26</td> <td>国保</td> <td>3,631</td> <td>10,210</td> <td>20,754,060</td> <td>27,063</td> <td>49,091,319</td> <td>37,273</td> <td>69,845,379</td> </tr> <tr> <td>社保</td> <td>12,217</td> <td>43,256</td> <td>79,263,858</td> <td>119,975</td> <td>212,803,674</td> <td>163,231</td> <td>292,067,532</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,848</td> <td>53,466</td> <td>100,017,918</td> <td>147,038</td> <td>261,894,993</td> <td>200,504</td> <td>361,912,911</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東日本大震災に伴う一部負担金免除措置 ・平成24年度 社保は平成24年9月末まで、国保は平成25年3月末まで実施（半壊以上） ・平成25年度 免除措置なし ・平成26年度 国保は免除措置を再開（大規模半壊以上の非課税世帯）</p>							区 分	受給者数(人)	県補助対象		独自拡大		計		件数	助成額(円)	件数	助成額(円)	件数	助成額(円)	H24	国保	3,433	6,901	12,889,349	16,126	27,448,004	23,027	40,337,353	社保	10,148	33,288	62,150,037	84,392	145,233,646	117,680	207,383,683	計	13,581	40,189	75,039,386	100,518	172,681,650	140,707	247,721,036	H25	国保	3,909	11,445	21,555,032	27,618	49,200,525	39,063	70,755,557	社保	12,321	42,374	78,160,860	111,251	195,427,084	153,625	273,587,944	計	16,230	53,819	99,715,892	138,869	244,627,609	192,688	344,343,501	H26	国保	3,631	10,210	20,754,060	27,063	49,091,319	37,273	69,845,379	社保	12,217	43,256	79,263,858	119,975	212,803,674	163,231	292,067,532	計	15,848	53,466	100,017,918	147,038	261,894,993	200,504	361,912,911
区 分	受給者数(人)	県補助対象		独自拡大		計																																																																																											
		件数	助成額(円)	件数	助成額(円)	件数	助成額(円)																																																																																										
H24	国保	3,433	6,901	12,889,349	16,126	27,448,004	23,027	40,337,353																																																																																									
	社保	10,148	33,288	62,150,037	84,392	145,233,646	117,680	207,383,683																																																																																									
	計	13,581	40,189	75,039,386	100,518	172,681,650	140,707	247,721,036																																																																																									
H25	国保	3,909	11,445	21,555,032	27,618	49,200,525	39,063	70,755,557																																																																																									
	社保	12,321	42,374	78,160,860	111,251	195,427,084	153,625	273,587,944																																																																																									
	計	16,230	53,819	99,715,892	138,869	244,627,609	192,688	344,343,501																																																																																									
H26	国保	3,631	10,210	20,754,060	27,063	49,091,319	37,273	69,845,379																																																																																									
	社保	12,217	43,256	79,263,858	119,975	212,803,674	163,231	292,067,532																																																																																									
	計	15,848	53,466	100,017,918	147,038	261,894,993	200,504	361,912,911																																																																																									
成果に係る評価		<p>子育て世代への経済的負担の軽減が図られており、継続して推進していく。未申請者に対しては、引き続き制度の周知を図る必要がある。</p>																																																																																															
(単位：円)																																																																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																											
	401,901,000	371,822,447	101,218,000			270,604,447																																																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はくむまち	復興計画	()																							
	1 項	社会福祉費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		()																							
	11 目	市民相談センター費		(2)	青少年を健全に育成する		()																							
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		少年センター運営費																									
事業コード		002-002-002-00144	事 業 名		青少年健全育成事業																									
目的及び事業内容		少年の非行防止及び非行対策に関し、関係機関、学校、関係団体及び民間有志者の密接な連携のもとに、広く地域社会の理解と協力を求め、総合的かつ効果的な活動を推進し、少年の健全な育成を図る。																												
取 組 実 績		<p>1 少年補導員による街頭補導活動の実施 各地区に配置している少年補導員による街頭補導、川開き祭り特別及び県下一斉警戒パトロール等を実施した。</p> <p>2 少年相談 少年非行等に悩む親等からの相談に対応した。</p> <p>本年度は、少年非行の早期発見、未然防止及び少年の健全育成を目的に、遊技場、駅、公園などを少年補導員140名による街頭補導を実施した。</p>																												
成 果		<p>学校や地域等の関係機関の有機的な連携のもと、街頭補導やパトロール等を実施することにより、青少年の非行防止と健全育成に寄与した。</p> <p><街頭補導実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施回数</th> <th>出動延人数</th> <th>声かけ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>450回</td> <td>1,496人</td> <td>267件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>468回</td> <td>1,547人</td> <td>241件</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>518回</td> <td>1,639人</td> <td>496件</td> </tr> </tbody> </table> <p><少年相談実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45件</td> <td>25件</td> <td>28件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	実施回数	出動延人数	声かけ数	H24	450回	1,496人	267件	H25	468回	1,547人	241件	H26	518回	1,639人	496件	H24	H25	H26	45件	25件	28件
区分	実施回数	出動延人数	声かけ数																											
H24	450回	1,496人	267件																											
H25	468回	1,547人	241件																											
H26	518回	1,639人	496件																											
H24	H25	H26																												
45件	25件	28件																												
成果に係る評価		地域と関係機関等の自主的かつ積極的な活動により、青少年の健全育成が図られていることから、継続的に推進していく必要がある。																												
(単位：円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	8,503,541	7,404,930	300,000			7,104,930																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	社会福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	12 目	権利擁護推進費		(2)	虐待を防止する		()	
実施計画掲載ページ		P 62	中 事 業		要保護児童対策事業費			
事業コード		004-003-001-00147	事 業 名		要保護児童対策事業			
目的及び事業内容		子どもの幸せと健やかな成長を促すために、福祉、教育、保健、医療、警察、司法などの関係機関や団体等が円滑な連携、協力を図り、児童虐待等の要保護児童の早期発見や適切な支援を行うことを目的に、平成21年5月に「石巻市要保護児童対策地域協議会」を設置した。要保護児童に関する情報や適切な保護を図るために必要な情報交換を行いながら、支援の内容に関する協議を行うとともに、児童虐待防止研修会の開催や市民への啓発などを行う。						
取 組 実 績		<p>1 代表者会議の開催 [年1回] 関係機関・団体等の代表者による会議を開催した。</p> <p>2 実務者会議の開催 (進行管理ケース数:178人) 要保護児童等の実態把握や支援ケースの総合的な把握を行うための会議を開催した。 全体実務者会議 2回 ブロック別実務者会議 4ブロック×3回</p> <p>3 個別ケース検討会議 18回</p> <p>4 児童虐待防止啓発事業 「虐待防止強化月間」に関係機関315か所にポスター掲示 啓発リーフレットを、市内小学校1年生及び母子手帳交付者に配布</p> <p>5 専門カウンセラー相談会 心理カウンセラー、臨床心理士及び家族相談士によるカウンセラー事業を実施した。 18回開催 実利用者11人 延べ利用者16人</p> <p>6 11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、虐待問題に合わせ、虐待問題に対する理解と関心を高めるとともに、虐待防止に向けた意識啓発を図ることを目的に、市民及び関係機関・団体等を対象に開催した。</p>						
成 果		要保護児童について、関係機関との連携により虐待等の未然防止や重症化を予防することができた。						
成果に係る評価		全国的に虐待相談件数は増加傾向にあり、進行管理がより重要なことから、関係機関との円滑な連携・協力体制を強化しながら、児童虐待防止の啓発事業を継続的に推進していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,216,000	5,131,369	4,483,602			647,767		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	社会福祉費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	14 目	東日本大震災関係費				()	地域福祉の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P157	中 事 業		総合福祉会館みなと荘移転新築事業費		
事業コード		002-103-003-00644	事 業 名		(仮称) 総合福祉会館みなと荘建設事業〔復興交付金〕		
目的及び事業内容		地域に密着して高齢者や地区住民が主に利用する総合福祉会館「みなと荘」について、石巻市震災復興基本計画等に基づき、津波からの安全確保等を考慮して適正に配置するため、総合福祉施設として、湊こども園の移転先に併せて合築を行うもの。					
取組実績		複合施設として、実施設計・監理業務、施設建設工事、電気設備工事、機械設備工事、太陽光発電設備設置工事を実施した。					
成 果		R C造3階建て、延べ床面積2,912.83㎡の複合施設完成。 1階：湊こども園 2階：みなと荘事務室、子育て支援室、放課後児童クラブ、集会室、会議室 3階：災害備蓄庫、料理工作実習室等					
成果に係る評価		計画どおり平成27年3月で完成し、地域福祉の拠点施設としての活用を期待している。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	494,430,632	480,804,735			348,993,000	131,811,735	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	復興計画	()	安心して健やかに暮らせるまち																																																	
	2 項	老人福祉費				()	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する																																																	
	1 目	老人福祉総務費				()	生きがいくくりと社会参加を支援する																																																	
実施計画掲載ページ		P64	小 事 業		敬老祝金支給事業費																																																			
事業コード		004-004-001-00086	事 業 名		敬老祝金支給事業																																																			
目的及び事業内容		高齢者(88歳、100歳)に対し、敬老祝金又は特別敬老祝金を支給することにより、敬老の意を表すとともに、高齢福祉の関心を深め、福祉の向上を図る。																																																						
取組実績		敬老祝金等支給実績(過去2か年) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">H25</th> <th colspan="3">H26</th> </tr> <tr> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88歳</td> <td>10千円</td> <td>777人</td> <td>7,770千円</td> <td>10千円</td> <td>805人</td> <td>8,050千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">100歳</td> <td>100千円</td> <td>1人</td> <td>100千円</td> <td>100千円</td> <td>0人</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>250千円</td> <td>31人</td> <td>7,750千円</td> <td>250千円</td> <td>24人</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>809人</td> <td>15,620千円</td> <td></td> <td>829人</td> <td>14,050千円</td> </tr> </tbody> </table> 受給資格及び支給額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>祝金</th> <th>受給資格者</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敬老祝金 88歳</td> <td>88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>特別敬老祝金 100歳</td> <td>100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者</td> <td>・3年以上10年未満 100,000円 ・10年以上 250,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H25			H26			金額	人数	支給額	金額	人数	支給額	88歳	10千円	777人	7,770千円	10千円	805人	8,050千円	100歳	100千円	1人	100千円	100千円	0人	0千円	250千円	31人	7,750千円	250千円	24人	6,000千円	計		809人	15,620千円		829人	14,050千円	祝金	受給資格者	支給額	敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円	特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	・3年以上10年未満 100,000円 ・10年以上 250,000円
区分	H25			H26																																																				
	金額	人数	支給額	金額	人数	支給額																																																		
88歳	10千円	777人	7,770千円	10千円	805人	8,050千円																																																		
100歳	100千円	1人	100千円	100千円	0人	0千円																																																		
	250千円	31人	7,750千円	250千円	24人	6,000千円																																																		
計		809人	15,620千円		829人	14,050千円																																																		
祝金	受給資格者	支給額																																																						
敬老祝金 88歳	88歳になる年の9月1日において市内に住所を有する者	10,000円																																																						
特別敬老祝金 100歳	100歳の誕生日において市内に引き続き3年以上住所を有する者	・3年以上10年未満 100,000円 ・10年以上 250,000円																																																						
成 果		高齢者に対し、敬老の意を表すとともに、高齢者福祉の関心を深め、福祉の向上を図ることができた。																																																						
成果に係る評価		敬老祝金支給に関する高齢者の期待が高く、事業の実施は本市の福祉政策への関心を深めることに繋がった。 しかし、高齢者人口の増加による事業費の増加が見込まれることから、今後は高齢者数の推移等を勘案し、他市町村の動向も注視しつつ、事業の趣旨に沿って、適宜、内容について検討していくことが必要である。																																																						
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	14,461,000	14,112,310			14,112,310																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																								
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																								
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		()																																																								
実施計画掲載ページ	P 64		中 事 業	敬老会費																																																											
事業コード	004-004-001-00087		事 業 名	敬老会開催事業																																																											
目的及び事業内容	77歳以上の高齢者を対象に敬老会を開催し、自らの生活の向上に努める意欲を促すとともに、長年の功績と長寿を祝う。																																																														
取 組 実 績	77歳以上の高齢者に対し、長寿を祝う。																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>開催会場</th> <th>開催日</th> <th>対象者数</th> <th>出席者数</th> <th>出席率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>石巻専修大学</td> <td>9月15日</td> <td>11,916人</td> <td>498人</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>河北総合センター</td> <td>9月14日</td> <td>1,945人</td> <td>284人</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>大須小学校</td> <td>9月15日</td> <td>526人</td> <td>64人</td> <td>12.2%</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>遊楽館</td> <td>9月6日</td> <td>2,785人</td> <td>251人</td> <td>9.0%</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>桃生総合支所</td> <td>9月6日</td> <td>1,237人</td> <td>274人</td> <td>22.2%</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>北上中学校</td> <td>9月6日</td> <td>456人</td> <td>82人</td> <td>18.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">牡鹿地区</td> <td>牡鹿保健福祉センター清優館</td> <td>9月13日</td> <td rowspan="2">732人</td> <td rowspan="2">109人</td> <td rowspan="2">14.9%</td> </tr> <tr> <td>牡鹿公民館長渡分館・網地生活センター</td> <td>9月16日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>19,597人</td> <td>1,562人</td> <td>8.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>長年の功績と長寿を祝うため、式典、アトラクションを重視して敬老会を開催した。 未だに仮設住宅などに居住している方が多いことから、参加会場を選択制とし、敬老会記念品を郵送するなどの対応を行った。</p>								地区	開催会場	開催日	対象者数	出席者数	出席率	石巻地区	石巻専修大学	9月15日	11,916人	498人	4.2%	河北地区	河北総合センター	9月14日	1,945人	284人	14.6%	雄勝地区	大須小学校	9月15日	526人	64人	12.2%	河南地区	遊楽館	9月6日	2,785人	251人	9.0%	桃生地区	桃生総合支所	9月6日	1,237人	274人	22.2%	北上地区	北上中学校	9月6日	456人	82人	18.0%	牡鹿地区	牡鹿保健福祉センター清優館	9月13日	732人	109人	14.9%	牡鹿公民館長渡分館・網地生活センター	9月16日	合計			19,597人	1,562人
地区	開催会場	開催日	対象者数	出席者数	出席率																																																										
石巻地区	石巻専修大学	9月15日	11,916人	498人	4.2%																																																										
河北地区	河北総合センター	9月14日	1,945人	284人	14.6%																																																										
雄勝地区	大須小学校	9月15日	526人	64人	12.2%																																																										
河南地区	遊楽館	9月6日	2,785人	251人	9.0%																																																										
桃生地区	桃生総合支所	9月6日	1,237人	274人	22.2%																																																										
北上地区	北上中学校	9月6日	456人	82人	18.0%																																																										
牡鹿地区	牡鹿保健福祉センター清優館	9月13日	732人	109人	14.9%																																																										
	牡鹿公民館長渡分館・網地生活センター	9月16日																																																													
合計			19,597人	1,562人	8.0%																																																										
成 果	高齢者福祉及び敬老意識の向上が図られた。																																																														
成果に係る評価	仮設住宅などに居住している方が多いことから、当分の間は、出欠に関わらず記念品を郵送することにより敬老を祝う必要がある。																																																														
予算の執行状況	(単位：円)																																																														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																									
14,143,000	12,683,081			12,683,081																																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()	
	1 目	老人福祉総務費		(1)	生きがいつくりと社会参加を支援する		()	
実施計画掲載ページ	P 64		中 事 業	高齢者保健福祉事業費				
事業コード	004-004-001-00106		事 業 名	老人クラブ活動費補助事業				
目的及び事業内容	<p>各単位老人クラブ及び老人クラブ連合会に対し活動費補助金を交付することにより、老人クラブ等の自主的活動を支援する。</p> <p>1 単位老人クラブへの補助基準額（合併協定項目） 会員数10人以上 35人未満：34,000円 35人以上70人未満：50,000円 70人以上100人未満：60,000円 100人以上：70,000円</p> <p>2 老人クラブ連合会への補助金積算：会員数割（1人当たり150円）＋基本割（合併前市町における老連補助金合算額の半額相当）</p>							
取 組 実 績	<p>1 単位クラブに対する補助金 補助金交付クラブ数：91クラブ 交付補助金額：3,856,000円 クラブ会員数：3,337人（男：1,283人 女：2,054人）</p> <p>2 老人クラブ連合会に対する補助金 連合会との協議により、全国老人クラブ連合会から配分された「東日本大震災救援拠出金」をもとに活動するため、平成26年度の補助金は交付しないこととした。</p>							
	成 果	各単位老人クラブへ活動費補助金を交付することで、老人クラブ等の自主的活動が支援でき、地域社会及び関係諸団体等との社会交流、高齢者の生きがいの向上と福祉の増進が図られた。						
成果に係る評価	震災後に休止、廃止によりクラブ数及び会員数が減少となっている。活動の再開や新規クラブの設立、活動の活性化のためにも、引き続き補助金を交付し支援することが必要である。							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
4,628,000	3,856,000	1,460,000			2,396,000			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																	
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																	
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																																																	
実施計画掲載ページ		P 68	中 事 業	ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業費																																																				
事業コード		004-004-002-00099	事 業 名	ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業																																																				
目的及び事業内容		在宅のひとりぐらし高齢者等に対し、緊急通報システム機器を貸与し、緊急事態に迅速な対応のできる体制を整備して、日常生活の安全の確保とともに、精神的な不安を解消し、在宅のひとり暮らし高齢者の福祉増進を図る。																																																						
取組実績		<p>緊急通報システム設置状況</p> <p>【設置状況】 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区 分</th> <th>全 体</th> <th>本 庁</th> <th>河 北</th> <th>雄 勝</th> <th>河 南</th> <th>桃 生</th> <th>北 上</th> <th>牡 鹿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">26</td> <td>年度末設置者数</td> <td>312</td> <td>196</td> <td>34</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>47</td> <td>29</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">25</td> <td>年度末設置者数</td> <td>325</td> <td>210</td> <td>37</td> <td>10</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>新規設置者数</td> <td>42</td> <td>23</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※被災者見守りシステムとの合算設置台数は平成26年度493件、平成25年度492件</p>							年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿	26	年度末設置者数	312	196	34	10	29	22	16	5	新規設置者数	47	29	7	0	4	7	0	0	25	年度末設置者数	325	210	37	10	24	20	18	6	新規設置者数	42	23	7	3	5	2	2	0
年度	区 分	全 体	本 庁	河 北	雄 勝	河 南	桃 生	北 上	牡 鹿																																															
26	年度末設置者数	312	196	34	10	29	22	16	5																																															
	新規設置者数	47	29	7	0	4	7	0	0																																															
25	年度末設置者数	325	210	37	10	24	20	18	6																																															
	新規設置者数	42	23	7	3	5	2	2	0																																															
成 果		平成26年度設置数は312件であり、昨年度より13件の減少となっているが、26年度初めに、震災の被害にあった設置分を調整したことによる。新規設置数は47件で昨年度より5件増加し、ひとりぐらし老人等の日常生活上の安全確保と精神的な不安の解消が図られた。																																																						
成果に係る評価		新規設置者の中には既存設置者の方から緊急通報システムのことを聞いて取り付けたという方もいて、認知度は上がってきていると思われる。今後も、高齢者が安心して暮らしていくために高齢者への周知を行い、新規設置者の増加を図っていく必要がある。																																																						
予算の執行状況		(単位：円)																																																						
予算額	8,775,000	決算額	6,963,379	決算額の財源内訳																																																				
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
						6,963,379																																																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																									
	2 目	在宅老人福祉費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()																									
実施計画掲載ページ		P 71	中 事 業	デイサービス事業関係費																												
事業コード		004-004-003-00091	事 業 名	生きがいデイサービス事業																												
目的及び事業内容		65歳以上の心身の機能は自立しているが、家に閉じこもりがちな高齢者が利用できるサービスで、生活に関する相談や指導、ゲームなどによる日常動作訓練、各種教養講座、健康チェックなどを行い、対象者の生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持・向上等を図ることを目的とする。																														
取組実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>200回</td> <td>44回</td> <td>350回</td> <td>168回</td> <td>143回</td> <td>99回</td> <td>1,004回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>1,667人</td> <td>487人</td> <td>2,689人</td> <td>1,548人</td> <td>1,465人</td> <td>598人</td> <td>8,454人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	本庁	河北	河南	桃生	北上	牡鹿	計	実施回数	200回	44回	350回	168回	143回	99回	1,004回	延べ利用者数	1,667人	487人	2,689人	1,548人	1,465人	598人	8,454人
区分	本庁	河北	河南	桃生	北上	牡鹿	計																									
実施回数	200回	44回	350回	168回	143回	99回	1,004回																									
延べ利用者数	1,667人	487人	2,689人	1,548人	1,465人	598人	8,454人																									
成 果		創作活動や日常動作訓練を通じて、高齢者の心身機能の維持向上に資することができ、在宅老人福祉の増進が図られた。																														
成果に係る評価		継続利用者が増えてきており、介護予防にもつながっている。震災後の生活環境の変化により、閉じこもりがちな高齢者の対策としてより必要性が高くなると考えられ、事業を継続する必要がある。																														
予算の執行状況		(単位：円)																														
予算額	43,523,000	決算額	41,350,012	決算額の財源内訳																												
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
						40,267,212	1,082,800																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																												
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																												
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																												
実施計画掲載ページ		P 66	中 事 業	外出支援サービス事業費																															
事業コード		004-004-002-00095	事 業 名	外出支援サービス事業																															
目的及び事業内容		公共交通機関を利用することが困難な高齢者が、通院、在宅サービス等の利用目的で寝台車及びリフトタクシーを利用した場合、利用料金の一部を助成することにより、在宅高齢者に外出の機会を与え、高齢者の生活支援や介護者の負担軽減を図る。																																	
取組実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>240人</td> <td>59人</td> <td>0人</td> <td>69人</td> <td>49人</td> <td>14人</td> <td>0人</td> <td>431人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>690件</td> <td>134件</td> <td>0件</td> <td>166件</td> <td>100件</td> <td>29件</td> <td>0件</td> <td>1,119件</td> </tr> </tbody> </table>							区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	240人	59人	0人	69人	49人	14人	0人	431人	利用件数	690件	134件	0件	166件	100件	29件	0件	1,119件
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																											
助成券交付者数	240人	59人	0人	69人	49人	14人	0人	431人																											
利用件数	690件	134件	0件	166件	100件	29件	0件	1,119件																											
成 果		外出支援サービスを提供することにより、日常生活の便宜と身体的、経済的な負担の軽減が図られた。																																	
成果に係る評価		利用件数は昨年度に比べ、26件の減少であるが、一方で交付者数は15人増加となった。今後も事業内容の周知に努め、利用者人数を増やし、在宅高齢者の外出する機会を増やすことにより、介護者の負担を軽減していく必要がある。																																	
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	4,600,000		3,925,470				3,925,470																												

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																	
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																	
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																																	
実施計画掲載ページ		P68	中 事 業	バリアフリー住宅普及促進事業費																																				
事業コード		004-004-002-00100	事 業 名	バリアフリー住宅普及促進事業																																				
目的及び事業内容		日常生活を営む上で支障があるおむね65歳以上の高齢者に対し、住宅のバリアフリー化を行うための改修工事に係る費用の一部を助成し、高齢者の居住環境の向上を図る。																																						
取組実績		<p>H25年度 利用件数 3件 ・経費の9割を補助 (上限 9万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>H26年度 利用件数 2件 ・経費の9割を補助 (上限 9万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>							本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	2件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	3件	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	2件
本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																	
2件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	3件																																	
本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																	
1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	2件																																	
成 果		段差解消、手すりの設置等の住宅改修費の一部を補助することにより、高齢者の転倒防止等の居住環境の向上が図られた。																																						
成果に係る評価		高齢者の居住環境の向上を目的として本事業を実施しているが、利用件数が少ないため、引き続き広報等での周知徹底を図り、対象の掘り起こしをしながら事業を継続していく必要がある。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	720,000		180,000				180,000																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()	
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()	
実施計画掲載ページ	P 67		中 事 業	老人日常生活用具給付事業費				
事業コード	004-004-002-00098		事 業 名	老人日常生活用具給付事業				
目的及び事業内容	在宅の援護が必要な高齢者に対し、火災警報器等の日常生活用具を給付又は貸与することにより、在宅の援護が必要な高齢者の日常生活の便宜と、在宅生活の質の向上を図る。							
取組実績	<p>H25年度 利用件数 電磁調理器（給付）3件 （用具の種類に応じた金額を助成）</p> <p>H26年度 利用件数 電磁調理器（給付）1件 火災警報器（給付）2件 老人用電話（貸与）1件 （用具の種類に応じた金額を助成）</p>							
成 果	日常生活用具を給付または貸与することにより、高齢者の居住環境の向上が図られた。							
成果に係る評価	平成25年度は電磁調理器の給付が3件と、給付・貸与用具に偏りが見られたが、平成26年度はその他の用具の給付や貸与の実績があった。今後も広報等を利用し事業の周知に努める。また、現状の高齢者の生活実態、ニーズ等を勘案し、時代に合った給付・貸与の内容になるよう事業の見直しも必要である。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	400,000	37,000			37,000			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																							
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																							
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()																																																							
実施計画掲載ページ	P67		中 事 業	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業費																																																										
事業コード	004-004-002-096		事 業 名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業																																																										
目的及び事業内容	在宅の高齢者で老衰、心身の障害、傷病等により、衛生管理が困難な高齢者に対し、寝具の洗濯、乾燥及び消毒のサービスを提供し、高齢者の衛生的な在宅生活の支援を図る。																																																													
取組実績	<p>H25年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>18人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>26件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>12件</td> <td>0件</td> <td>41件</td> </tr> </tbody> </table> <p>H26年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>本庁</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成券交付者数</td> <td>20人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>11人</td> <td>0人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td>29件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>18件</td> <td>0件</td> <td>47件</td> </tr> </tbody> </table>								区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	18人	1人	0人	0人	3人	10人	0人	32人	利用件数	26件	1件	0件	0件	2件	12件	0件	41件	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	助成券交付者数	20人	0人	0人	0人	0人	11人	0人	31人	利用件数	29件	0件	0件	0件	0件	18件	0件	47件
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																						
助成券交付者数	18人	1人	0人	0人	3人	10人	0人	32人																																																						
利用件数	26件	1件	0件	0件	2件	12件	0件	41件																																																						
区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																																						
助成券交付者数	20人	0人	0人	0人	0人	11人	0人	31人																																																						
利用件数	29件	0件	0件	0件	0件	18件	0件	47件																																																						
成 果	寝具洗濯乾燥消毒サービスを提供することにより、日常生活の便宜と身体的、経済的な負担の軽減が図られた。																																																													
成果に係る評価	ひとり暮らし高齢者や高齢世帯が増加している中、高齢者の経済的負担軽減と生活向上に必要なサービスであり、一定の成果は得られたが、本庁地区では一定の利用者がいるのに対し、総合支所各地区ではなかなか利用者が増えないことから、事業の周知をすることにより、今後利用者の掘り起こし等に努め、利用者の拡大を図り事業を継続していく必要がある。																																																													
(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	236,000	231,240			231,240																																																									

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()		
	2 項	老人福祉費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()		
	2 目	在宅老人福祉費		(2)	生活支援を充実する		()		
実施計画掲載ページ	P67		中 事 業	訪問理美容サービス事業費					
事業コード	004-004-002-00097		事 業 名	訪問理美容サービス事業					
目的及び事業内容	在宅の高齢者で心身の障害、傷病等により、自ら理容院又は美容院を利用することが困難な高齢者に対し、理美容師が高齢者宅を訪問し、理美容サービスを提供し、高齢者の衛生的な在宅生活の支援を図る。								
取組実績	H25年度								
	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
助成券交付者数	22 人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	23 人
利用件数	43 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	44 件
取組実績	H26年度								
	区分	本庁	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計
助成券交付者数	29 人	0 人	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	0 人	30 人
利用件数	58 件	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	59 件
成 果	訪問理美容サービスを提供することにより、日常生活・衛生面の向上と身体的、経済的な負担の軽減が図られた。								
成果に係る評価	ひとり暮らし高齢者や高齢世帯が増加している中、高齢者の経済的負担軽減と生活向上に必要なサービスであり、年々利用者数は増加しているが、そのほとんどが本庁地区の利用者であり、総合支所各地区ではなかなか利用者が増えないことから、今後、事業の周知により利用者の掘り起こし等に努め、利用者の拡大を図り事業を継続していく必要がある。								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	88,500	88,500			88,500				

予算科目	3 款	民生費	総合計画	()		
	2 項	老人福祉費		()		
	3 目	老人福祉施設費		()		
実施計画掲載ページ			中 事 業	高齢者福祉センター管理費		
事業コード			事 業 名	老人福祉センター寿楽荘運営事業		
目的及び事業内容	寿楽荘において、60歳以上の高齢者に対して、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の場を供し、老人福祉の増進に資する。					
取組実績	1 利用状況 施設利用者数；延13,324人					
	2 主な実施事業 (1)救命講習（平成26年7月25日） (2)寿楽荘敬老会（平成26年9月6日） (3)寿楽荘年忘れ演芸会（平成26年12月12日） (4)寿楽荘新春親睦将棋大会（平成27年1月23日） (5)高齢者健康相談（毎月1回実施）					
取組実績	2 施設状況 石巻市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例第6条に基づき、（社）石巻市社会福祉協議会に寿楽荘の管理業務等について委託している。					
	利用者が快適に利用できるよう、震災による被害箇所の原状復旧修繕や駐車場の整備を行ったことにより、安全性を確保しながら、高齢者に対しレクリエーションや生きがいを供与し、高齢者福祉の増進が図られた。					
成 果	【入浴状況】					
	年度	入浴者数	総利用者数	利用率		
H22	5,929人	17,566人	34%	※震災のため11月より入浴のみ再開		
H23	2,495人	2,495人	100%			
H24	4,381人	10,964人	40%			
H25	4,487人	12,318人	36%			
H26	4,621人	13,324人	35%			
成果に係る評価	平成25年度の利用者数よりも平成26年度の利用者数は増加しており、高齢者の憩いの場として、事業を継続していく必要がある。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,698,000	6,698,000			6,698,000	

予算科目	3 款	民生費	総合計画		復興計画																	
	2 項	老人福祉費																				
	3 目	老人福祉施設費																				
実施計画掲載ページ			中 事 業	河南老人福祉センター管理費																		
事業コード			事 業 名	河南老人福祉センター運営事業																		
目的及び事業内容		地域の高齢者に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者が健康で明るい生活を営むことに寄与する。																				
取 組 実 績	1 利用状況 施設利用者数；延6,182人																					
	2 施設状況		<table border="1"> <tr> <td>施設名称</td> <td>河南老人福祉センター</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>石巻市前谷地字黒沢前35番地</td> </tr> <tr> <td>施設概要</td> <td>栄養指導室、教養娯楽室、健康相談室、工作室、集会及び運動指導室、生活相談室、図書室</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>設置条例に基づき徴収</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>2,950,000円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>1,844,424円</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td>平成23年4月1日～平成28年3月32日</td> </tr> </table>					施設名称	河南老人福祉センター	所在地	石巻市前谷地字黒沢前35番地	施設概要	栄養指導室、教養娯楽室、健康相談室、工作室、集会及び運動指導室、生活相談室、図書室	利用料	設置条例に基づき徴収	指定管理者	社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会	指定管理料	2,950,000円	修繕料	1,844,424円	指定期間
施設名称	河南老人福祉センター																					
所在地	石巻市前谷地字黒沢前35番地																					
施設概要	栄養指導室、教養娯楽室、健康相談室、工作室、集会及び運動指導室、生活相談室、図書室																					
利用料	設置条例に基づき徴収																					
指定管理者	社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会																					
指定管理料	2,950,000円																					
修繕料	1,844,424円																					
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月32日																					
成 果		老人福祉法に基づく老人福祉センターとして、多くの高齢者に対し、各種相談に応じたほか、健康の増進やレクリエーション等の便宜を総合的に供与することにより、高齢者の健康で明るい生活を営むことに寄与した。 また、指定管理者に管理を行わせることにより、柔軟で円滑な施設運営が図られた。																				
成果に係る評価		老人福祉センターは、高齢者の憩いの場として重要であり、高齢者福祉の増進を図るためにも事業を継続する必要がある。																				
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	4,794,424	4,794,424				4,794,424																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	2 項	老人福祉費		第 節			()	
	3 目	老人福祉施設費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	寿楽荘移転新築事業費				
事業コード			事 業 名	寿楽荘移転新築事業				
目的及び事業内容		老朽化の著しい老人福祉センター寿楽荘を移転新築し、旧庁舎跡地に建設される復興住宅の1階に合築する。						
取 組 実 績	【福祉総務課支払分】							
	日和が丘一丁目復興住宅・寿楽荘複合施設整備工事設計業務		6,362,712円					
		日和が丘一丁目復興住宅・寿楽荘複合施設整備予定地地質調査業務		566,482円				
		※平成27年度から復興計画（東日本大震災関係費）に組換えとなる						
成 果		設計業務及び地質調査について、平成26年度に実施し完了した。						
成果に係る評価		複合施設建設工事設計業務を滞りなく進めることができた。 建築工事については、平成27年度、28年度の2カ年事業として実施する。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	7,774,938	6,929,194				6,929,194		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																							
	2 項	老人福祉費		第4節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																																							
	4 目	老人保護費		(2)	生活支援を充実する		()																																																							
実施計画掲載ページ		P 66		中 事 業	老人保護対策費																																																									
事業コード		004-004-002-00092		事 業 名	老人保護対策事業																																																									
目的及び事業内容		老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者であって、在宅において日常生活を営むのに支障がある者に対して、心身の状況、その置かれている環境の状況等を総合的に勘案して、老人ホームに入所措置を行う。																																																												
取組実績		<p>1 老人ホーム入所等の生活相談受付 養護老人ホームの入所に際し、市民からの生活相談に応じた。</p> <p>2 生活実態調査 養護老人ホームの入所を希望する者の生活状況等の実態調査を行った。</p> <p>3 老人ホーム入所判定委員会の開催 2回 養護老人ホームへ措置する者の適否を審査した。</p> <p>4 老人ホーム入所依頼数 10人</p> <p>養護老人ホーム措置者数 平成27年3月31日現在</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="2">万生園</th> <th colspan="2">きたかみ園</th> <th colspan="2">ひばり園</th> <th colspan="2">偕楽園</th> <th colspan="2">松風荘</th> <th colspan="2">松寿園</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>(石巻市)</th> <th>(登米市)</th> <th>(美里町)</th> <th>(大和町)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> <th>(名取市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>73人</td> <td>0人</td> <td>11人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>入所 退所</td> <td>6人 7人</td> <td>0人 2人</td> <td>4人 2人</td> <td>0人 1人</td> <td>0人 1人</td> <td>0人 1人</td> <td>0人 0人</td> <td>0人 0人</td> <td>0人 0人</td> <td>0人 0人</td> <td>0人 0人</td> <td>0人 0人</td> <td>10人 13人</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	万生園		きたかみ園		ひばり園		偕楽園		松風荘		松寿園		計	(石巻市)	(登米市)	(美里町)	(大和町)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	入所者数	73人	0人	11人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	87人	入所 退所	6人 7人	0人 2人	4人 2人	0人 1人	0人 1人	0人 1人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	10人 13人
施設名	万生園		きたかみ園		ひばり園		偕楽園			松風荘		松寿園		計																																																
	(石巻市)	(登米市)	(美里町)	(大和町)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)	(名取市)																																																		
入所者数	73人	0人	11人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	87人																																																	
入所 退所	6人 7人	0人 2人	4人 2人	0人 1人	0人 1人	0人 1人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	0人 0人	10人 13人																																																	
成 果		環境的、経済的等の理由により、在宅での生活が困難な高齢者を老人ホームへ入所措置することにより、老人福祉の増進が図られた。																																																												
成果に係る評価		今後も、高齢化の進展や社会情勢を反映して、入所対象者の増加が見込まれることから、事業を継続する必要がある。																																																												
(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	245,325,000	231,878,782			27,885,983	203,992,799																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																												
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																												
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																												
実施計画掲載ページ		P58		中 事 業	民間保育所助成費																																																														
事業コード		004-003-001-00129		事 業 名	民間保育所助成事業																																																														
目的及び事業内容		1 認可外保育施設助成事業 (1) 認可外保育施設補助金の交付(児童保育費、職員研究奨励費、施設運営費)																																																																	
取組実績		<p>1 認可外保育施設助成事業 (1) 要件を満たす認可外保育施設に補助金を交付し、保育施設の適正な運営に寄与した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">職員数</th> <th rowspan="2">対象延べ児童数</th> <th colspan="3">補助金額内訳</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>施設運営費</th> <th>児童保育費</th> <th>職員研究奨励費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>10人</td> <td>766人</td> <td>22,000円</td> <td>4,565,000円</td> <td>514,500円</td> <td>5,101,500円</td> </tr> <tr> <td>保育園あいはら</td> <td>6人</td> <td>142人</td> <td>22,000円</td> <td>1,109,000円</td> <td>280,500円</td> <td>1,411,500円</td> </tr> <tr> <td>おひさま保育園</td> <td>6人</td> <td>360人</td> <td>22,000円</td> <td>2,805,000円</td> <td>327,500円</td> <td>3,154,500円</td> </tr> <tr> <td>保育園ぼこあぼこ</td> <td>6人</td> <td>180人</td> <td>22,000円</td> <td>1,797,000円</td> <td>280,500円</td> <td>2,099,500円</td> </tr> <tr> <td>ちびっこランド石巻向陽園</td> <td>5人</td> <td>192人</td> <td>22,000円</td> <td>1,575,000円</td> <td>222,000円</td> <td>1,819,000円</td> </tr> <tr> <td>GENKIっこ保育園</td> <td>6人</td> <td>166人</td> <td>22,000円</td> <td>1,808,000円</td> <td>280,500円</td> <td>2,110,500円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>39人</td> <td>1,806人</td> <td>132,000円</td> <td>13,659,000円</td> <td>1,905,500円</td> <td>15,696,500円</td> </tr> </tbody> </table>							施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳			計	施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費	吉田保育園	10人	766人	22,000円	4,565,000円	514,500円	5,101,500円	保育園あいはら	6人	142人	22,000円	1,109,000円	280,500円	1,411,500円	おひさま保育園	6人	360人	22,000円	2,805,000円	327,500円	3,154,500円	保育園ぼこあぼこ	6人	180人	22,000円	1,797,000円	280,500円	2,099,500円	ちびっこランド石巻向陽園	5人	192人	22,000円	1,575,000円	222,000円	1,819,000円	GENKIっこ保育園	6人	166人	22,000円	1,808,000円	280,500円	2,110,500円	計	39人	1,806人	132,000円	13,659,000円	1,905,500円	15,696,500円
施設名	職員数	対象延べ児童数	補助金額内訳			計																																																													
			施設運営費	児童保育費	職員研究奨励費																																																														
吉田保育園	10人	766人	22,000円	4,565,000円	514,500円	5,101,500円																																																													
保育園あいはら	6人	142人	22,000円	1,109,000円	280,500円	1,411,500円																																																													
おひさま保育園	6人	360人	22,000円	2,805,000円	327,500円	3,154,500円																																																													
保育園ぼこあぼこ	6人	180人	22,000円	1,797,000円	280,500円	2,099,500円																																																													
ちびっこランド石巻向陽園	5人	192人	22,000円	1,575,000円	222,000円	1,819,000円																																																													
GENKIっこ保育園	6人	166人	22,000円	1,808,000円	280,500円	2,110,500円																																																													
計	39人	1,806人	132,000円	13,659,000円	1,905,500円	15,696,500円																																																													
成 果		認可外保育施設の適正な運営及び低年齢児童の保育の確保により、児童福祉の向上が図られた。 ※ 入所児童数は、各年度4月1日現在																																																																	
成果に係る評価		待機児童の多い低年齢児保育の受皿を確保するためにも、認可外保育施設の適正な運営及び乳幼児福祉の向上を図ることが必要であり、今後も事業を継続していく。																																																																	
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	15,696,500	15,696,500	5,630,000			10,066,500																																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																						
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																						
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																						
実施計画掲載ページ		P 59	中 事 業		私立認可保育所運営費																																																								
事業コード		004-003-001-130	事 業 名		私立認可保育所助成事業																																																								
目的及び事業内容		私立認可保育所に対し、運営費を支弁することにより、私立認可保育所の運営の安定化を図る。																																																											
取 組 実 績		<p>1 私立認可保育所に対し、児童福祉法に基づく運営費を支弁することにより、児童福祉の増進が図られた。</p> <p>2 私立認可保育所が実施している子育て支援センター事業、一時保育事業、延長保育事業など特別保育事業の事業費を支弁することにより、子育て家庭への支援、保育サービスの向上が図られた。</p>																																																											
成 果		<p>児童福祉法に基づく支弁を行うことにより、公立保育所と同様に安定した保育運営が維持され、児童の健全な育成と子育て家庭の就労支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保 育 所 名</th> <th rowspan="2">定員</th> <th colspan="3">入所児童数（各年度4月1日現在）</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なかよし保育園</td> <td>60人</td> <td>64人</td> <td>67人</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>ひまわり保育園</td> <td>90人</td> <td>85人</td> <td>91人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>広瀬保育所</td> <td>60人</td> <td>79人</td> <td>76人</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>メロン保育園</td> <td>140人</td> <td>128人</td> <td>153人</td> <td>158人</td> </tr> <tr> <td>インターナショナル「リスクール」ノッチ</td> <td>70人</td> <td>68人</td> <td>68人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>ブルーバードインターナショナル「リスクール」</td> <td>75人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>アリス保育園</td> <td>70人</td> <td>-</td> <td>63人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>石巻ひがし保育園</td> <td>75人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>640人</td> <td>424人</td> <td>518人</td> <td>672人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成26年4月より石巻ひがし保育園が私立認可保育所として開設。</p>							保 育 所 名	定員	入所児童数（各年度4月1日現在）			H24	H25	H26	なかよし保育園	60人	64人	67人	65人	ひまわり保育園	90人	85人	91人	89人	広瀬保育所	60人	79人	76人	74人	メロン保育園	140人	128人	153人	158人	インターナショナル「リスクール」ノッチ	70人	68人	68人	70人	ブルーバードインターナショナル「リスクール」	75人	-	-	75人	アリス保育園	70人	-	63人	75人	石巻ひがし保育園	75人	-	-	66人	計	640人	424人	518人	672人
保 育 所 名	定員	入所児童数（各年度4月1日現在）																																																											
		H24	H25	H26																																																									
なかよし保育園	60人	64人	67人	65人																																																									
ひまわり保育園	90人	85人	91人	89人																																																									
広瀬保育所	60人	79人	76人	74人																																																									
メロン保育園	140人	128人	153人	158人																																																									
インターナショナル「リスクール」ノッチ	70人	68人	68人	70人																																																									
ブルーバードインターナショナル「リスクール」	75人	-	-	75人																																																									
アリス保育園	70人	-	63人	75人																																																									
石巻ひがし保育園	75人	-	-	66人																																																									
計	640人	424人	518人	672人																																																									
成果に係る評価		民間保育所の安定した運営を図りながら、民間と行政が連携して特別保育事業の拡充など保育サービスの向上を図る必要がある。																																																											
(単位：円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	658,723,840	658,695,840	395,810,850		85,218,760	177,666,230																																																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	児童福祉費		第 節			(1)	未来の人を育てる
	1 目	児童福祉総務費		()			(2)	子育て環境の復興
実施計画掲載ページ		P 197	中 事 業		民間保育所助成費			
事業コード		004-102-001-00522	事 業 名		私立保育所建設補助事業			
目的及び事業内容		子育て支援対策臨時特例交付金(安心子ども基金)を活用し、社会福祉法人等が保育所等を創設、増築、増改築を行う場合に、保育所整備に要する費用の一部を補助し、保育環境の整備と待機児童の解消を図る。						
取 組 実 績		<p>1私立保育所建設補助事業 社会福祉法人夢みの里「ブルーバードインターナショナルプリスクール」増築への補助 床面積：既存分495.29㎡+増築分241.39㎡=736.68㎡ 木造2階建 敷地面積：既存分1,762.8㎡+増築分436.38㎡=2,199.18㎡ 定員 整備前75人 整備後110人 平成26年12月20日着工 平成27年3月26日事業完了 総事業費 64,689,142円 補助基本額 58,807,568円 補助金確定額 44,105,000円</p> <p>2小規模保育事業施設整備 株式会社ケヤキ福祉「ケヤキッズへびた保育園」整備への補助 床面積：84.5㎡ 木造2階建の1階 敷地面積：177.7㎡ 定員 19人 平成27年2月16日着工 平成27年3月31日事業完了 総事業費 38,434,209円 補助基本額 38,095,197円 補助金確定額 28,571,000円</p>						
成 果		<p>民間による保育施設の整備を推進することにより、保育需要の受け皿が増え、就労している保護者の保育環境の向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブルーバードインターナショナルプリスクール（今回35人増とし定員110人） 0歳児5人、1歳児6人、2歳児1人、3歳児3人、4歳児4人、5歳児16人 ケヤキッズへびた保育園（定員19人） 0歳児3人、1歳児8人、2歳児8人 						
成果に係る評価		今後も民間保育施設の建設補助を行うことにより、民間保育所、保育の量の拡充を図っていく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	72,676,000	72,676,000	64,601,000					8,075,000

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 63		中 事 業	子ども・子育て支援事業計画策定費			
事業コード		004-003-001-00902		事 業 名	子ども・子育て支援事業計画策定事業			
目的及び事業内容		子ども・子育て支援法第61条の規定により、市町村は子ども・子育て支援事業計画を平成26年度中に策定することとなった。策定するに当たり合議制機関の設置が示されたことから、「石巻市子ども・子育て会議」を設置し、平成27年度から5年間の期間の計画を策定した。						
取組実績		<p>石巻市子ども・子育て支援事業計画を策定した。</p> <p>石巻市子ども・子育て支援事業計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度に実施したニーズ調査を用い教育・保育の需要見込み等を検討し、計画を策定した。 計画案策定に当たっては、石巻市子ども・子育て会議において議論し、検討を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 委員数 15名（学識経験を有する者、保健・医療・福祉・教育関係者、一般公募等） 開催回数 平成25年度 計2回 平成26年度 計7回 計画策定に当たっては、平成26年12月10日から平成27年1月6日までの期間において、パブリック・コメントを実施した。 						
成 果		<p>石巻市子ども・子育て支援事業計画の策定により、平成27年度から平成31年度までの5年間の子ども・子育て施策の方向性を明確にし、子どもたちの健全な育成と、家庭を築き、子どもを産み育てるとする親の希望をかなえ、全ての子どもが健やかに成長できる社会の実現に向け総合的な推進が図られる。</p> <p>計画の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画の位置付け 子ども・子育て支援法に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」 計画期間 平成27年度～平成31年度（5年間） 基本理念 子どもの最善の利益、親としての成長の支援、地域全体での支え合い 基本施策 子どもの健やかな成長を支える、子どもの人権の尊重と安全・安心を守る 主要施策・実施事業 基本理念、基本施策の具体化として、主要施策と主な実施事業を掲げその方針を示した。 教育・保育施設 今後の需要量と確保方策について示した。 地域子ども・子育て支援事業 今後の需要量と確保方策について示した。 						
成果に係る評価		本計画に掲載した事業を計画的に執行していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		4,393,500	4,344,788				4,344,788	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()					
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()					
実施計画掲載ページ		P 62		中 事 業	母子支援事業費							
事業コード		004-003-001-00146		事 業 名	助産施設入所助成事業							
目的及び事業内容		経済的理由により、病院で入院助産を受けることができない妊産婦に出産費用を助成することにより、安心して出産できるよう助産施設への入所を図る。										
取組実績		<p><平成26年度利用実績></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>利用施設名</th> <th>利用者数</th> </tr> <tr> <td>石巻赤十字病院</td> <td>6人</td> </tr> </table>							利用施設名	利用者数	石巻赤十字病院	6人
利用施設名	利用者数											
石巻赤十字病院	6人											
成 果		経済的な理由により、助産施設を利用できない妊産婦の安全な出産確保が図られた。										
成果に係る評価		児童福祉法に基づく施策であり、安全な出産を確保するために、今後とも継続する必要がある。										
(単位：円)												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源				
		2,662,667	2,662,667	1,632,169		320,800	709,698					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 63	中 事 業		母子支援事業費			
事業コード		004-003-001-00148	事 業 名		養育支援訪問事業（ホームヘルパー支援事業）			
目的及び事業内容		要保護児童対策の一環として、養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等がその居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、当該家庭の適切な養育の確保を図る。						
取組実績		<平成26年度利用実績> 利用世帯数 7世帯 利用延回数 860回						
成 果		子育ての孤立による育児不安や過重な負担の軽減と、養育環境の改善が図られた。						
成果に係る評価		育児ストレスを軽減し安定した子どもの養育環境を確保すると共に、養育能力の低い母親への指導支援を継続する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,290,000		2,568,550		1,666,000			902,550

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()	
	1 目	児童福祉総務費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()	
実施計画掲載ページ		P 63	中 事 業		子ども・子育て支援事業計画策定費			
事業コード		004-003-001-00903	事 業 名		子ども・子育て支援システム整備事業			
目的及び事業内容		平成27年度に子ども・子育て支援新制度が施行するのに伴い、全ての業務が「制度管理システム」による管理に変わることから、新システムを導入し、運用を開始する。						
取組実績		1 H26.6.2 システム導入業務契約締結 37,692,000円 H26.10.1 支給認定業務開始 H27.3.31 システム導入業務完了 2 H26.8.1 保育システムデータ移行業務契約締結 3,369,600円 H27.3.31 データ移行業務完了						
成 果		石巻市子ども・子育て支援システム導入により、石巻市子ども・子育て支援事業計画に基づき実施する乳幼児期における保育・教育の事業をシステムによって管理できる。						
成果に係る評価		平成27年度以降、石巻市子ども・子育て支援事業計画に基づき実施する事業をシステムの運用により、保育需要に見合うサービスを提供していく必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	46,930,000		41,061,600		41,061,000			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()													
	2 目	児童手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()													
実施計画掲載ページ		P 57	中 事 業		児童手当費															
事業コード		004-003-001-00124	事 業 名		児童手当支給事業															
目的及び事業内容		<p>中学校修了前の児童を養育している方に、児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。(2月、6月、10月に前月までの4か月分を支給)</p> <p>3歳未満及び小学生までの第3子以降 15,000円 小学生までの第1子、第2子及び中学生まで 10,000円 所得制限以上の所得がある者は中学生まで一律 5,000円</p>																		
取組実績		<p>平成26年度支給状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支給対象延べ人数</th> <th>支給総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時払</td> <td>3,837人</td> <td>40,445,000円</td> </tr> <tr> <td>定期払</td> <td>197,742人</td> <td>2,194,695,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>201,579人</td> <td>2,235,140,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※定期払・・・年3回(2・6・10月) 随時払・・・定期払の月を除く各月</p>								支給対象延べ人数	支給総額	随時払	3,837人	40,445,000円	定期払	197,742人	2,194,695,000円	計	201,579人	2,235,140,000円
	支給対象延べ人数	支給総額																		
随時払	3,837人	40,445,000円																		
定期払	197,742人	2,194,695,000円																		
計	201,579人	2,235,140,000円																		
成 果		児童を養育している保護者に手当を支給することにより、生活の安定と次代の社会を担う児童の健全育成が図られた。																		
成果に係る評価		今後も国の動向を踏まえて、子育て世帯の生活の安定を図っていく必要がある。																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	2,240,595,000	2,235,140,000	1,891,093,329			344,046,671														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																	
	3 目	児童扶養手当費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																	
実施計画掲載ページ		P 58	中 事 業		児童扶養手当費																			
事業コード		004-003-001-00126	事 業 名		児童扶養手当支給事業																			
目的及び事業内容		<p>父又は母と生計を同じくしていない児童を監護している母、児童を監護し生計を同じくする父又は当該父母にかわって児童を養育している方に、手当を支給し、生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の向上を図る。</p> <p>全部支給 H26.4～ 41,020円 一部支給 H26.4～ 9,680円～41,010円 2人目 5,000円加算 3人目以降 3,000円加算</p>																						
取組実績		<p>1 児童扶養手当支給の実施 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定が図られた。</p> <p>2 現況届の実施 児童扶養手当受給者の前年所得及び認定後の資格要件を確認することにより、受給資格の適正化を図った。</p>																						
成 果		<p>父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、当該児童について児童扶養手当を支給し、もって児童の福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>支給対象者数</th> <th>支給対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>1,972人</td> <td>2,833人</td> <td>935,804,000円</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1,780人</td> <td>2,559人</td> <td>905,340,560円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,669人</td> <td>2,408人</td> <td>850,590,030円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額	H24	1,972人	2,833人	935,804,000円	H25	1,780人	2,559人	905,340,560円	H26	1,669人	2,408人	850,590,030円
年度	支給対象者数	支給対象児童数	支給額																					
H24	1,972人	2,833人	935,804,000円																					
H25	1,780人	2,559人	905,340,560円																					
H26	1,669人	2,408人	850,590,030円																					
成果に係る評価		東日本大震災の被害による雑損失が年々繰越終了していること等により、受給者や扶養義務者の所得が増額となったこと等が、平成24年度以降の支給額減の要因と考えられるが、母子家庭等の生活の安定と福祉の増進を図るため継続的に実施する必要がある。																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	858,831,000	850,590,030	282,786,566			567,803,464																		

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																										
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																										
	4 目	母子福祉費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																										
実施計画掲載ページ		P 57	中 事 業		母子・父子家庭医療対策費																												
事業コード		004-003-001-00125	事 業 名		母子・父子家庭医療対策事業																												
目的及び事業内容		<p>母子及び父子家庭に対し、医療費の助成を行い生活の安定と福祉の増進を図る。健康保険等により、本人の負担する自己負担額から次の金額を控除し助成する。 入院の場合 1レセプト 2,000円（食事療養費は除く。） 外来の場合 1レセプト 1,000円 ※所得制限あり</p>																															
取組実績		<p>母子・父子家庭等にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。このことにより、当該家庭の経済的安定を図った。なお、平成26年度は国保加入者の一部で、震災に伴う医療費一部負担金免除が実施されたことに対応し、受給者に一層有利な医療費免除を優先して適用することで、当該家庭の経済的安定に寄与することができた。 また、母子・父子家庭医療費助成受給資格を前年度の所得により見直し、受給資格の適正化を図った。</p>																															
成 果		<p>配偶者のない者及びその者に監護されている児童で構成されている家庭並びに父母のない児童を含む家庭父母のない児童を含む家庭に対して医療費を助成することにより、母子・父子家庭の生活の安定と福祉の増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成世帯数</th> <th>助成対象者数</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2,124世帯</td> <td>4,983人</td> <td>7,330件</td> <td>17,145,909円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,034世帯</td> <td>4,943人</td> <td>9,906件</td> <td>24,370,152円</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,136世帯</td> <td>4,824人</td> <td>15,526件</td> <td>40,710,391円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2,030世帯</td> <td>4,436人</td> <td>12,656件</td> <td>32,516,088円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	助成世帯数	助成対象者数	助成件数	助成金額	H23	2,124世帯	4,983人	7,330件	17,145,909円	H24	2,034世帯	4,943人	9,906件	24,370,152円	H25	2,136世帯	4,824人	15,526件	40,710,391円	H26	2,030世帯	4,436人	12,656件	32,516,088円
年度	助成世帯数	助成対象者数	助成件数	助成金額																													
H23	2,124世帯	4,983人	7,330件	17,145,909円																													
H24	2,034世帯	4,943人	9,906件	24,370,152円																													
H25	2,136世帯	4,824人	15,526件	40,710,391円																													
H26	2,030世帯	4,436人	12,656件	32,516,088円																													
成果に係る評価		<p>東日本大震災後の医療費免除の影響で、平成23～24年度は助成金額及び助成件数が大幅に減少した。平成25年度は医療費免除の特例が一旦全て終了したことに伴い、助成金額・助成件数共に震災前に近い数値まで回復したが、平成26年度から再び国保において、一部、震災による医療費免除が行われることとなったことから、助成金額及び助成件数が減少に転じた。 平成27年度も、国保の一部で震災による医療費免除が継続されることとなるが、医療の面で母子・父子家庭の経済的負担を軽減することによって、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県の補助金を利用して継続的に実施する必要がある。</p>																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	33,347,000	32,516,088	16,261,000			16,255,088																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																														
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																																														
	4 目	母子福祉費		()			()																																																																														
実施計画掲載ページ			中 事 業		ひとり親家庭等在宅就業支援事業費																																																																																
事業コード			事 業 名		ひとり親家庭等在宅就業支援事業																																																																																
目的及び事業内容		<p>ひとり親家庭の経済的な自立を目的として、ITを中心とした在宅就業を促進するため、業務の開拓、仕事の品質管理、従事者の能力開発、就業支援等の一体的取組を促進し、家庭と仕事の両立が図られるよう就業環境の整備を図る。</p>																																																																																			
取組実績		<p>1 ひとり親家庭等在宅就業支援事業は、右巻在宅就業支援コンソーシアムに事業委託し実施している。(契約期間)1期生：H23. 8. 25～H25. 3. 31、2期生：H24. 12. 27～H26. 7. 31、3期生：H26. 1. 20～H27. 7. 31 各期の委託料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>130,855,488円</td> <td>9,281,072円</td> <td></td> <td></td> <td>140,136,560円</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td></td> <td>30,988,000円</td> <td>76,265,934円</td> <td>10,418,980円</td> <td>117,672,914円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td></td> <td></td> <td>30,893,500円</td> <td>77,449,030円</td> <td>108,342,530円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>130,855,488円</td> <td>40,269,072円</td> <td>107,159,434円</td> <td>87,868,010円</td> <td>366,152,004円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業内容 訓練プログラムは、基礎研修及び応用訓練の2段階とし、委託期間内で終了するよう実施 (1) 基礎訓練：パソコンの基本操作、制作ソフトによるコンテンツ作成など、在宅就業に必要な技術・知識の習得【期間5ヶ月程度(1日3時間半程度、月64時間以上の訓練) / 月5万円の手当支給】 (2) 応用訓練：OJTとして在宅就業に従事、集合研修への参加など【訓練期間9ヶ月程度(週2日程度、月28時間以上の訓練) / 月2万5千円の手当支給+実務に対する報酬】</p>								H23	H24	H25	H26	計	第1期	130,855,488円	9,281,072円			140,136,560円	第2期		30,988,000円	76,265,934円	10,418,980円	117,672,914円	第3期			30,893,500円	77,449,030円	108,342,530円	計	130,855,488円	40,269,072円	107,159,434円	87,868,010円	366,152,004円																																															
	H23	H24	H25	H26	計																																																																																
第1期	130,855,488円	9,281,072円			140,136,560円																																																																																
第2期		30,988,000円	76,265,934円	10,418,980円	117,672,914円																																																																																
第3期			30,893,500円	77,449,030円	108,342,530円																																																																																
計	130,855,488円	40,269,072円	107,159,434円	87,868,010円	366,152,004円																																																																																
成 果		<p>基礎訓練や応用訓練を通して、ひとり親家庭の経済的な自立が図られた。</p> <p>1 各期の研修受講人数 (H27. 7. 1時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>母子家庭</th> <th>障害者</th> <th>高齢者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1期</td> <td>開始時</td> <td>45人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>終了時</td> <td>41人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2期</td> <td>開始時</td> <td>47人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>終了時</td> <td>37人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>開始時</td> <td>44人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 研修終了後の就労状況 (アンケート結果より H26. 7. 1時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>正規雇用</th> <th>非正規雇用</th> <th>パート・アルバイト</th> <th>在宅就労</th> <th>非就職</th> <th>未回答</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1期</td> <td>開始時</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> <td>7人</td> <td>24人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>H26. 7. 1</td> <td>7人</td> <td>4人</td> <td>11人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>19人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2期</td> <td>開始時</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>8人</td> <td>28人</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>H26. 7. 1</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>10人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>18人</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>									母子家庭	障害者	高齢者	計	第1期	開始時	45人	3人	2人	50人	終了時	41人	3人	1人	45人	第2期	開始時	47人	1人	2人	50人	終了時	37人	1人	2人	40人	第3期	開始時	44人	3人	3人	50人			正規雇用	非正規雇用	パート・アルバイト	在宅就労	非就職	未回答	合計	第1期	開始時	4人	3人	12人	0人	7人	24人	50人	H26. 7. 1	7人	4人	11人	0人	4人	19人	45人	第2期	開始時	3人	1人	10人	0人	8人	28人	50人	H26. 7. 1	6人	2人	10人	0人	4人	18人	40人
		母子家庭	障害者	高齢者	計																																																																																
第1期	開始時	45人	3人	2人	50人																																																																																
	終了時	41人	3人	1人	45人																																																																																
第2期	開始時	47人	1人	2人	50人																																																																																
	終了時	37人	1人	2人	40人																																																																																
第3期	開始時	44人	3人	3人	50人																																																																																
		正規雇用	非正規雇用	パート・アルバイト	在宅就労	非就職	未回答	合計																																																																													
第1期	開始時	4人	3人	12人	0人	7人	24人	50人																																																																													
	H26. 7. 1	7人	4人	11人	0人	4人	19人	45人																																																																													
第2期	開始時	3人	1人	10人	0人	8人	28人	50人																																																																													
	H26. 7. 1	6人	2人	10人	0人	4人	18人	40人																																																																													
成果に係る評価		<p>受講者の8割以上が基礎訓練及び応用訓練の課程を修了し、正規雇用などに就労することができ、目的とするひとり親家庭の経済的な自立に繋がった。本事業は3期生(平成27年度)で一旦終了するものの、今後もひとり親家庭の自立を支援していく必要がある。</p>																																																																																			
(単位：円)																																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
	90,234,000	87,868,010	87,867,010			1,000																																																																															

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																	
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																	
	4 目	母子福祉費		()			()																																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	母子家庭等自立支援給付金事業費																																																				
事業コード			事 業 名	母子家庭等自立支援給付金事業																																																				
目的及び事業内容		ひとり親家庭の主体的な能力開発の取組を支援することにより、雇用の安定及び就職を促進し、ひとり親家庭の自立を図る。(資格を取得するため2年以上養成機関で修業する場合に、2年を上限として毎月給付金を支給) ・高等職業訓練促進給付金 市民税非課税世帯 月額100,000円 市民税課税世帯 月額 70,500円 ・高等職業訓練終了支給給付金 市民税非課税世帯 月額 50,000円 市民税課税世帯 月額 25,000円 ・自立支援教育訓練給付金事業 支給対象者が受講のために支払った費用の20%相当額を支給。																																																						
取組実績		<p>平成26年度対象経費支出額</p> <table border="1"> <tr> <td>自立支援教育訓練給付金事業</td> <td colspan="3">積算内訳</td> </tr> <tr> <td>1件 ①</td> <td>対象経費</td> <td>支給割合</td> <td>支給額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>108,000円</td> <td>20%</td> <td>21,600円</td> </tr> </table> <p>高等職業訓練促進給付金等事業</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">高等職業訓練促進給付金 ②</td> <td>月額</td> <td>月数</td> <td>件数</td> <td>支給額</td> </tr> <tr> <td>100,000円</td> <td>12月</td> <td>5件</td> <td>6,000,000円</td> </tr> <tr> <td>100,000円</td> <td>8月</td> <td>1件</td> <td>800,000円</td> </tr> <tr> <td>70,500円</td> <td>12月</td> <td>4件</td> <td>3,384,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高等職業訓練修了支援給付金 ③</td> <td>70,500円</td> <td>4月</td> <td>1件</td> <td>282,000円</td> </tr> <tr> <td>支給単価</td> <td>件数</td> <td>支給額</td> </tr> <tr> <td>50,000円</td> <td>3件</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>25,000円</td> <td>3件</td> <td>75,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計(①②③)</td> <td colspan="3"></td> <td>10,712,600円</td> </tr> </table>							自立支援教育訓練給付金事業	積算内訳			1件 ①	対象経費	支給割合	支給額		108,000円	20%	21,600円	高等職業訓練促進給付金 ②	月額	月数	件数	支給額	100,000円	12月	5件	6,000,000円	100,000円	8月	1件	800,000円	70,500円	12月	4件	3,384,000円	高等職業訓練修了支援給付金 ③	70,500円	4月	1件	282,000円	支給単価	件数	支給額	50,000円	3件	150,000円	25,000円	3件	75,000円	合 計(①②③)				10,712,600円
自立支援教育訓練給付金事業	積算内訳																																																							
1件 ①	対象経費	支給割合	支給額																																																					
	108,000円	20%	21,600円																																																					
高等職業訓練促進給付金 ②	月額	月数	件数	支給額																																																				
	100,000円	12月	5件	6,000,000円																																																				
	100,000円	8月	1件	800,000円																																																				
	70,500円	12月	4件	3,384,000円																																																				
高等職業訓練修了支援給付金 ③	70,500円	4月	1件	282,000円																																																				
	支給単価	件数	支給額																																																					
	50,000円	3件	150,000円																																																					
25,000円	3件	75,000円																																																						
合 計(①②③)				10,712,600円																																																				
成 果		ひとり親家庭の高等職業訓練促進事業及び自立支援教育訓練事業に基づき、対象となる看護師・准看護師等の資格を取得することにより、仕事に生かされ、ひとり親家庭の安定と福祉の増進が図られた。																																																						
成果に係る評価		ひとり親家庭の高等職業訓練促進費事業及び自立支援教育訓練給付金事業に関する事業に基づき行う事業であり、ひとり親家庭の安定と福祉の増進を図るため継続的に実施する必要がある。																																																						
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	13,434,000	10,712,600	8,034,000				2,678,600																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																										
	3 項	児童福祉費		第 3 節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																										
	5 目	保育所管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																										
実施計画掲載ページ			P 59	中 事 業	保育所管理費																																												
事業コード		004-003-001-00132	事 業 名	延長保育事業																																													
目的及び事業内容		保護者の就労形態の多様化に伴い、仕事が通常の保育時間を超える場合に、午後7時まで保育時間を延長し、子育て家庭の支援を図る。																																															
取組実績		就労等により保育所への迎えが遅くなる保護者への支援を図るため、蛇田、鹿又、須江保育所で事業を継続した。 なお、門脇保育所については、東日本大震災により休止している。																																															
成 果		子育て家庭における仕事と家庭の両立支援が図られた。 (年度毎利用者数)																																															
		<table border="1"> <tr> <td>保育所名</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>鹿又保育所</td> <td>298人</td> <td>311人</td> <td>131人</td> <td>17人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>須江保育所</td> <td>188人</td> <td>48人</td> <td>133人</td> <td>88人</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>門脇保育所</td> <td>196人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蛇田保育所</td> <td>73人</td> <td>80人</td> <td>535人</td> <td>532人</td> <td>488人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>755人</td> <td>439人</td> <td>799人</td> <td>637人</td> <td>621人</td> </tr> <tr> <td>1日あたりの利用人数</td> <td>3.1人</td> <td>1.8人</td> <td>3.3人</td> <td>2.6人</td> <td>2.5人</td> </tr> </table>						保育所名	H22	H23	H24	H25	H26	鹿又保育所	298人	311人	131人	17人	48人	須江保育所	188人	48人	133人	88人	85人	門脇保育所	196人	-	-	-	-	蛇田保育所	73人	80人	535人	532人	488人	計	755人	439人	799人	637人	621人	1日あたりの利用人数	3.1人	1.8人	3.3人	2.6人	2.5人
保育所名	H22	H23	H24	H25	H26																																												
鹿又保育所	298人	311人	131人	17人	48人																																												
須江保育所	188人	48人	133人	88人	85人																																												
門脇保育所	196人	-	-	-	-																																												
蛇田保育所	73人	80人	535人	532人	488人																																												
計	755人	439人	799人	637人	621人																																												
1日あたりの利用人数	3.1人	1.8人	3.3人	2.6人	2.5人																																												
成果に係る評価		安心して仕事ができる環境づくりの促進、就労家庭の福祉向上を図るために、今後も住民ニーズを踏まえ本事業の拡大を図る必要がある。																																															
(単位：円)																																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
	15,075,191	15,075,191			527,200	14,547,991																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																															
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																															
	6 目	一時保育事業管理費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																															
実施計画掲載ページ		P 59	中 事 業		一時保育事業管理費																																	
事業コード		004-003-001-00131	事 業 名		一時保育事業																																	
目的及び事業内容		保護者の就労形態の多様化に伴い、緊急時等一時的に保育を要する子育て家庭への保育サービスを提供し、保護者の心理的、肉体的負担の解消を図る。																																				
取組実績		<p>仕事と子育てとの両立を容易にするとともに、子育ての不安感を緩和し、安心して子育てができる環境整備を推進した。</p> <p>(利用者延べ人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保育所名</th> <th colspan="3">利用形態</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>非定型的保育</th> <th>緊急保育</th> <th>私的理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿妻保育所</td> <td>269人</td> <td>362人</td> <td>300人</td> <td>931人</td> </tr> <tr> <td>北村保育所</td> <td>92人</td> <td>32人</td> <td>5人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>二俣保育所</td> <td>209人</td> <td>11人</td> <td>20人</td> <td>240人</td> </tr> </tbody> </table>							保育所名	利用形態			合計	非定型的保育	緊急保育	私的理由	鹿妻保育所	269人	362人	300人	931人	北村保育所	92人	32人	5人	129人	二俣保育所	209人	11人	20人	240人							
保育所名	利用形態			合計																																		
	非定型的保育	緊急保育	私的理由																																			
鹿妻保育所	269人	362人	300人	931人																																		
北村保育所	92人	32人	5人	129人																																		
二俣保育所	209人	11人	20人	240人																																		
成 果		<p>保護者の疾病等により一時的に保育が必要となった家庭の育児負担の軽減が図られた。</p> <p>(利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>非定型的保育</th> <th>緊急保育</th> <th>私的理由</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>548人</td> <td>1,099人</td> <td>616人</td> <td>2,263人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>0人</td> <td>10人</td> <td>35人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>103人</td> <td>12人</td> <td>50人</td> <td>165人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>316人</td> <td>405人</td> <td>77人</td> <td>798人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>570人</td> <td>405人</td> <td>325人</td> <td>1,300人</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	非定型的保育	緊急保育	私的理由	合計	H22	548人	1,099人	616人	2,263人	H23	0人	10人	35人	45人	H24	103人	12人	50人	165人	H25	316人	405人	77人	798人	H26	570人	405人	325人	1,300人
年 度	非定型的保育	緊急保育	私的理由	合計																																		
H22	548人	1,099人	616人	2,263人																																		
H23	0人	10人	35人	45人																																		
H24	103人	12人	50人	165人																																		
H25	316人	405人	77人	798人																																		
H26	570人	405人	325人	1,300人																																		
成果に係る評価		利用者数が増加傾向にあることから、住民ニーズも踏まえ事業の拡大を図りながら、更に、一時的に保育を要する家庭への保育サービスを充実させ、安心して子育てできる環境づくりに努める。																																				
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	11,823,000	9,940,327	4,901,000		2,391,850	2,647,477																																

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																				
	3 項	児童福祉費		第 節			()																																																				
	7 目	心身障害児通園施設費		()			()																																																				
実施計画掲載ページ			中 事 業		かもめ学園管理費																																																						
事業コード			事 業 名		かもめ学園管理事業																																																						
目的及び事業内容		<p>心身障害児に対して障害の克服に必要な機能訓練及び生活指導を行い、児童の養育に資するとともに、児童の健全な育成、保護者の就労支援等を図るため、石巻市かもめ学園内において、児童発達支援事業等を実施する。</p> <p>1 事業内容 児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障害児日中一時支援サービス、出張子育て支援事業に係る支援業務、たんぼ広場に係る支援業務、発達・療育支援業務に係る支援業務、放課後児童クラブに係る支援業務</p> <p>2 施設の指定管理者 社会福祉法人 石巻祥心会（指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日）</p>																																																									
取組実績		<p>1 利用料金収入実績（平成26年4月分～平成27年3月分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>利用者延べ人数</th> <th>利用料金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童発達支援等事業</td> <td>984人</td> <td>22,908,334円</td> </tr> <tr> <td>日中一時支援事業</td> <td>327人</td> <td>1,299,637円</td> </tr> <tr> <td>利用者自己負担金</td> <td>-</td> <td>170,833円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 管理運営に関する収支</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>金 額</th> <th>内 訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理料</td> <td>3,111,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用料金</td> <td>24,378,804円</td> <td>児童発達支援等、日中一時支援、利用者自己負担金</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>322,198円</td> <td>原子力給付金、寄附金等</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>27,812,002円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>26,902,344円</td> <td>報酬、手当、共済費</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>3,495,527円</td> <td>消耗品費、燃料費、光熱費等</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>286,849円</td> <td>警備委託料等</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>287,490円</td> <td>修繕費、減価償却費、保険料</td> </tr> <tr> <td>支出計</td> <td>30,972,210円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収入－支出</td> <td>-3,160,208円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							事業名	利用者延べ人数	利用料金	児童発達支援等事業	984人	22,908,334円	日中一時支援事業	327人	1,299,637円	利用者自己負担金	-	170,833円	項 目	金 額	内 訳	指定管理料	3,111,000円		収入			利用料金	24,378,804円	児童発達支援等、日中一時支援、利用者自己負担金	その他	322,198円	原子力給付金、寄附金等	収入計	27,812,002円		支出			人件費	26,902,344円	報酬、手当、共済費	事務費	3,495,527円	消耗品費、燃料費、光熱費等	管理費	286,849円	警備委託料等	その他	287,490円	修繕費、減価償却費、保険料	支出計	30,972,210円		収入－支出	-3,160,208円	
事業名	利用者延べ人数	利用料金																																																									
児童発達支援等事業	984人	22,908,334円																																																									
日中一時支援事業	327人	1,299,637円																																																									
利用者自己負担金	-	170,833円																																																									
項 目	金 額	内 訳																																																									
指定管理料	3,111,000円																																																										
収入																																																											
利用料金	24,378,804円	児童発達支援等、日中一時支援、利用者自己負担金																																																									
その他	322,198円	原子力給付金、寄附金等																																																									
収入計	27,812,002円																																																										
支出																																																											
人件費	26,902,344円	報酬、手当、共済費																																																									
事務費	3,495,527円	消耗品費、燃料費、光熱費等																																																									
管理費	286,849円	警備委託料等																																																									
その他	287,490円	修繕費、減価償却費、保険料																																																									
支出計	30,972,210円																																																										
収入－支出	-3,160,208円																																																										
成 果		心身障害児に対して障害の克服に必要な機能訓練及び生活指導を行い、児童の養育に資するとともに、児童の健全な育成、保護者の就労支援等が図られた。																																																									
成果に係る評価		心身障害児の日常的な訓練等を行うことにより、児童の健全な育成が図られ、児童の家族に対しても就労支援及び介護負担の軽減が図られており、事業を継続するとともに、利用者拡大に向けた広報を展開していく。また、平成26年度は、法定の人員配置4名に対し、保育士を1名追加したことにより、人件費増加による支出増がみられたことから、人件費適正化等について検証していく必要がある。																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
	3,111,000	3,111,000						3,111,000																																																			

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																																																																																																																
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																																																																																																																
	8 目	心身障害児通園対策費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																																																																																																																
実施計画掲載ページ		P 61	中 事 業		心身障害児通園対策費																																																																																																																																																		
事業コード		004-003-001-00136	事 業 名		心身障害児通園対策事業																																																																																																																																																		
目的及び事業内容		障害児保育を実施している保育所及びかもめ学園に通園する心身障害児の通園に要する交通費を助成することにより児童の福祉増進を図る。																																																																																																																																																					
取組実績		10施設に通園する児童の保護者に対し、通園に要する交通費の助成を行い、障害児の福祉増進を図った。																																																																																																																																																					
成 果		<p>障害児保育実施保育所及びかもめ学園へ通園する児童の健全育成と保護者の負担軽減が図られた。</p> <p>事業費及び対象者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> <th>対象者</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かもめ学園</td> <td>5人</td> <td>50,366円</td> <td>6人</td> <td>60,921円</td> <td>9人</td> <td>59,681円</td> <td>7人</td> <td>107,137円</td> </tr> <tr> <td>石巻保育所</td> <td>5人</td> <td>190,981円</td> <td>4人</td> <td>92,247円</td> <td>6人</td> <td>143,151円</td> <td>3人</td> <td>80,009円</td> </tr> <tr> <td>渡波保育所</td> <td>2人</td> <td>75,588円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>若草保育所</td> <td>3人</td> <td>60,162円</td> <td>3人</td> <td>54,200円</td> <td>3人</td> <td>47,234円</td> <td>2人</td> <td>48,540円</td> </tr> <tr> <td>ふたば保育所</td> <td>1人</td> <td>23,667円</td> <td>2人</td> <td>70,306円</td> <td>2人</td> <td>75,444円</td> <td>2人</td> <td>62,008円</td> </tr> <tr> <td>鹿妻保育所</td> <td>4人</td> <td>120,478円</td> <td>5人</td> <td>174,125円</td> <td>5人</td> <td>226,183円</td> <td>4人</td> <td>179,273円</td> </tr> <tr> <td>水押保育所</td> <td>1人</td> <td>103,888円</td> <td>2人</td> <td>127,537円</td> <td>2人</td> <td>127,707円</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>井内保育所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4人</td> <td>88,855円</td> <td>3人</td> <td>94,038円</td> <td>3人</td> <td>116,292円</td> </tr> <tr> <td>飯野川保育所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>82,018円</td> <td>1人</td> <td>80,977円</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>和瀬保育所</td> <td>5人</td> <td>315,639円</td> <td>6人</td> <td>315,617円</td> <td>5人</td> <td>226,459円</td> <td>4人</td> <td>229,217円</td> </tr> <tr> <td>桃生新田保育所</td> <td>1人</td> <td>33,287円</td> <td>1人</td> <td>31,805円</td> <td>1人</td> <td>41,031円</td> <td>2人</td> <td>102,906円</td> </tr> <tr> <td>橋浦保育所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1人</td> <td>19,931円</td> <td>2人</td> <td>41,232円</td> <td>3人</td> <td>127,729円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿保育所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2人</td> <td>52,980円</td> <td>2人</td> <td>76,773円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27人</td> <td>974,056円</td> <td>35人</td> <td>1,117,562円</td> <td>41人</td> <td>1,216,117円</td> <td>32人</td> <td>1,129,884円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H23		H24		H25		H26		対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	かもめ学園	5人	50,366円	6人	60,921円	9人	59,681円	7人	107,137円	石巻保育所	5人	190,981円	4人	92,247円	6人	143,151円	3人	80,009円	渡波保育所	2人	75,588円	-	-	-	-	-	-	若草保育所	3人	60,162円	3人	54,200円	3人	47,234円	2人	48,540円	ふたば保育所	1人	23,667円	2人	70,306円	2人	75,444円	2人	62,008円	鹿妻保育所	4人	120,478円	5人	174,125円	5人	226,183円	4人	179,273円	水押保育所	1人	103,888円	2人	127,537円	2人	127,707円	-	-	井内保育所	-	-	4人	88,855円	3人	94,038円	3人	116,292円	飯野川保育所	-	-	1人	82,018円	1人	80,977円	-	-	和瀬保育所	5人	315,639円	6人	315,617円	5人	226,459円	4人	229,217円	桃生新田保育所	1人	33,287円	1人	31,805円	1人	41,031円	2人	102,906円	橋浦保育所	-	-	1人	19,931円	2人	41,232円	3人	127,729円	牡鹿保育所	-	-	-	-	2人	52,980円	2人	76,773円	計	27人	974,056円	35人	1,117,562円	41人	1,216,117円	32人	1,129,884円
区 分	H23		H24		H25		H26																																																																																																																																																
	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費	対象者	事業費																																																																																																																																															
かもめ学園	5人	50,366円	6人	60,921円	9人	59,681円	7人	107,137円																																																																																																																																															
石巻保育所	5人	190,981円	4人	92,247円	6人	143,151円	3人	80,009円																																																																																																																																															
渡波保育所	2人	75,588円	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																															
若草保育所	3人	60,162円	3人	54,200円	3人	47,234円	2人	48,540円																																																																																																																																															
ふたば保育所	1人	23,667円	2人	70,306円	2人	75,444円	2人	62,008円																																																																																																																																															
鹿妻保育所	4人	120,478円	5人	174,125円	5人	226,183円	4人	179,273円																																																																																																																																															
水押保育所	1人	103,888円	2人	127,537円	2人	127,707円	-	-																																																																																																																																															
井内保育所	-	-	4人	88,855円	3人	94,038円	3人	116,292円																																																																																																																																															
飯野川保育所	-	-	1人	82,018円	1人	80,977円	-	-																																																																																																																																															
和瀬保育所	5人	315,639円	6人	315,617円	5人	226,459円	4人	229,217円																																																																																																																																															
桃生新田保育所	1人	33,287円	1人	31,805円	1人	41,031円	2人	102,906円																																																																																																																																															
橋浦保育所	-	-	1人	19,931円	2人	41,232円	3人	127,729円																																																																																																																																															
牡鹿保育所	-	-	-	-	2人	52,980円	2人	76,773円																																																																																																																																															
計	27人	974,056円	35人	1,117,562円	41人	1,216,117円	32人	1,129,884円																																																																																																																																															
成果に係る評価		障害児の保育施設への通所の負担を軽減し、保育児童の健全な成長発達を促進するため継続する必要がある。																																																																																																																																																					
(単位：円)																																																																																																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																																																																	
	1,172,000	1,129,884				1,129,884																																																																																																																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																				
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																				
	10 目	放課後児童クラブ費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																				
実施計画掲載ページ		P 60	中 事 業		放課後児童クラブ関係費																																																						
事業コード		004-003-001-00135	事 業 名		放課後児童クラブ事業(運営)																																																						
目的及び事業内容		就労等により保護者が保育を受けることができない小学校低学年児童を対象に放課後における遊びと生活の場として開設し、児童の安全確保と健全育成を図る。																																																									
取組実績		<p>待機児童を解消するため、放課後児童クラブ専用教室を設置したほか利用定員数を拡大した。</p> <p>1 釜地区放課後児童クラブ、蛇田地区放課後児童クラブに専用教室を設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>利用定員</th> <th>開設日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜地区第二放課後児童クラブ</td> <td>50人</td> <td>H26.9.1</td> </tr> <tr> <td>蛇田地区第二放課後児童クラブ</td> <td>50人</td> <td>H26.9.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 放課後児童クラブの定員数改正</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>改正前</th> <th>改正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向陽地区放課後児童クラブ</td> <td>55人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>中里地区放課後児童クラブ</td> <td>55人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>蛇田地区第一放課後児童クラブ</td> <td>60人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>桃生第二地区放課後児童クラブ</td> <td>20人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 被災利用児童支援対策 被災利用児童支援策として、利用者負担金の災害減免を実施 (1) 災害減免者数 586人 (2) 災害減免額 13,616,500円</p>							クラブ名	利用定員	開設日	釜地区第二放課後児童クラブ	50人	H26.9.1	蛇田地区第二放課後児童クラブ	50人	H26.9.1	クラブ名	改正前	改正後	向陽地区放課後児童クラブ	55人	70人	中里地区放課後児童クラブ	55人	70人	蛇田地区第一放課後児童クラブ	60人	70人	桃生第二地区放課後児童クラブ	20人	36人																											
クラブ名	利用定員	開設日																																																									
釜地区第二放課後児童クラブ	50人	H26.9.1																																																									
蛇田地区第二放課後児童クラブ	50人	H26.9.1																																																									
クラブ名	改正前	改正後																																																									
向陽地区放課後児童クラブ	55人	70人																																																									
中里地区放課後児童クラブ	55人	70人																																																									
蛇田地区第一放課後児童クラブ	60人	70人																																																									
桃生第二地区放課後児童クラブ	20人	36人																																																									
成 果		<p>放課後児童クラブ利用定員数拡大の実施により、利用者数の拡大が図られた。</p> <p>【児童クラブ設置数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施クラブ数</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>定員数</td> <td>1,150人</td> <td>1,150人</td> <td>1,210人</td> <td>1,464人</td> <td>1,620人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用児童数・待機児童数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用児童数</td> <td>888人</td> <td>802人</td> <td>852人</td> <td>1112人</td> <td>1371人</td> </tr> <tr> <td>待機児童数</td> <td>26人</td> <td>19人</td> <td>15人</td> <td>7人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【利用者負担金災害減免】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>災害減免者数</th> <th>災害減免額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>313人</td> <td>7,143,600円</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>372人</td> <td>9,198,250円</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>469人</td> <td>11,350,250円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>586人</td> <td>13,616,500円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	H22	H23	H24	H25	H26	実施クラブ数	28	28	28	32	33	定員数	1,150人	1,150人	1,210人	1,464人	1,620人	区分	H22	H23	H24	H25	H26	利用児童数	888人	802人	852人	1112人	1371人	待機児童数	26人	19人	15人	7人	4人	区分	災害減免者数	災害減免額	H23	313人	7,143,600円	H24	372人	9,198,250円	H25	469人	11,350,250円	H26	586人	13,616,500円
区分	H22	H23	H24	H25	H26																																																						
実施クラブ数	28	28	28	32	33																																																						
定員数	1,150人	1,150人	1,210人	1,464人	1,620人																																																						
区分	H22	H23	H24	H25	H26																																																						
利用児童数	888人	802人	852人	1112人	1371人																																																						
待機児童数	26人	19人	15人	7人	4人																																																						
区分	災害減免者数	災害減免額																																																									
H23	313人	7,143,600円																																																									
H24	372人	9,198,250円																																																									
H25	469人	11,350,250円																																																									
H26	586人	13,616,500円																																																									
成果に係る評価		今後も専用教室の建設、利用定員数の拡大により子育て環境の向上を図る必要がある。																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
	162,165,000	148,899,236	47,565,000		17,845,000	83,489,236																																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																					
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																					
	11 目	子育て支援センター費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																					
実施計画掲載ページ		P 60	中 事 業		子育て支援センター管理費																							
事業コード		004-003-001-00134	事 業 名		子育て支援センター事業																							
目的及び事業内容		地域全体で子育てを支援する基盤形成のため、育児不安等を抱える保護者の相談、子育てサークル等への活動指導や子育て家庭に対する育児支援を行う。																										
取組実績		<p>1 子育て家庭における育児に関する相談指導、育児に係る各種情報の提供 来所や電話などによる相談体制を整備し、また、支援センターだよりを定期的に発行し、育児関連情報の提供を行った。</p> <p>2 子育てサークル代表者会議、子育て講演会等の実施 サークル間の情報交換やそれぞれの地区での子育て講演会を開催するなど会員間の交流を図った。</p> <p>3 子育て親子の交流 (1) あそびの広場、親子教室、異年齢交流など各センターが、地域の特性を活かした交流の場を提供した。 (2) 稲井公民館、かもめ学園及びうしお荘での出張型子育て支援事業を継続し、地域での子育て交流の促進を図った。</p>																										
成果		<p>本庁及び各総合支所の7か所において子育て支援事業を実施、親子教室など参加者の増加が図られた。また、地域に向いた交流活動や育児相談事業、出張型子育て支援事業を通して、育児支援が促進された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数 (電話、来所、訪問)</td> <td>184件</td> <td>193件</td> <td>220件</td> <td>203件</td> </tr> <tr> <td>子育てサークル (支援件数)</td> <td>379件</td> <td>591件</td> <td>431件</td> <td>336件</td> </tr> <tr> <td>親子教室・あそびの広場 (参加親子数)</td> <td>4,822組</td> <td>8,230組</td> <td>6,933組</td> <td>6,599組</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	H23	H24	H25	H26	相談件数 (電話、来所、訪問)	184件	193件	220件	203件	子育てサークル (支援件数)	379件	591件	431件	336件	親子教室・あそびの広場 (参加親子数)	4,822組	8,230組	6,933組	6,599組
項 目	H23	H24	H25	H26																								
相談件数 (電話、来所、訪問)	184件	193件	220件	203件																								
子育てサークル (支援件数)	379件	591件	431件	336件																								
親子教室・あそびの広場 (参加親子数)	4,822組	8,230組	6,933組	6,599組																								
成果に係る評価		育児不安を抱える保護者への相談や子育てサークルへの指導、育児支援、出張型子育て支援事業は、子育て家庭の地域交流の促進と福祉向上を図るうえでも重要であり、今後も継続して行う必要がある。																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	34,024,000	31,206,616	30,584,000		240,000	382,616																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																							
	3 項	児童福祉費		第3節	安心して子どもを産み育てられる支援体制を確立する		()																																																							
	12 目	ファミリーサポート費		(1)	子育てを支援する環境を整備する		()																																																							
実施計画掲載ページ		P 60	中 事 業		ファミリーサポート事業費																																																									
事業コード		004-003-001-00133	事 業 名		ファミリーサポート事業																																																									
目的及び事業内容		市民が相互に行う育児援助活動に対し、その活動を支援することにより安心して子育てができる環境づくりを推進する。仕事と家庭の両立や保護者の急用等により子どもを預かってほしい場合に、石巻市ファミリーサポートセンターへ登録した会員同士がそれぞれの信頼のもとに相互援助活動を行う事業。																																																												
取組実績		<p>1 事業PRの強化 (1) ホームページに掲載し、会員の募集を図るとともに、窓口にも事業パンフレットを備え付け、市内全地区での会員増加を図った。 (2) 保育所、放課後児童クラブを通し、子育て家庭への事業パンフレットを配付し、事業PRの強化を図った。</p> <p>2 会員数拡大対策 (1) 会員確保のため、関心を持ってファミリーサポート事務局を訪れた方などへの事業説明や会員希望者に対する講習会を実施した。</p>																																																												
成果		<p>震災後の困難な状況においても、安心して子育てができる環境づくりの推進、児童福祉の向上が図られた。</p> <table border="1"> <caption>会員登録数</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力会員</td> <td>62人</td> <td>58人</td> <td>55人</td> <td>52人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>利用会員</td> <td>91人</td> <td>87人</td> <td>99人</td> <td>96人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>両方会員</td> <td>11人</td> <td>12人</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>164人</td> <td>157人</td> <td>167人</td> <td>161人</td> <td>169人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(利用件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育施設までの送迎</td> <td>192件</td> <td>111件</td> <td>316件</td> <td>94件</td> <td>249件</td> </tr> <tr> <td>保護者等の用事や病気等の預かり</td> <td>79件</td> <td>89件</td> <td>113件</td> <td>192件</td> <td>109件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>271件</td> <td>200件</td> <td>429件</td> <td>286件</td> <td>358件</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H22	H23	H24	H25	H26	協力会員	62人	58人	55人	52人	56人	利用会員	91人	87人	99人	96人	103人	両方会員	11人	12人	13人	13人	10人	合 計	164人	157人	167人	161人	169人	項 目	H22	H23	H24	H25	H26	保育施設までの送迎	192件	111件	316件	94件	249件	保護者等の用事や病気等の預かり	79件	89件	113件	192件	109件	合 計	271件	200件	429件	286件	358件
区 分	H22	H23	H24	H25	H26																																																									
協力会員	62人	58人	55人	52人	56人																																																									
利用会員	91人	87人	99人	96人	103人																																																									
両方会員	11人	12人	13人	13人	10人																																																									
合 計	164人	157人	167人	161人	169人																																																									
項 目	H22	H23	H24	H25	H26																																																									
保育施設までの送迎	192件	111件	316件	94件	249件																																																									
保護者等の用事や病気等の預かり	79件	89件	113件	192件	109件																																																									
合 計	271件	200件	429件	286件	358件																																																									
成果に係る評価		安心して子育てができる環境づくりの推進、児童福祉の向上を図るため、会員登録数の確保に努める。また、利用対象年齢の拡大についても今後検討する。																																																												
(単位：円)																																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	2,257,000	2,083,743	1,372,000			711,743																																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	()													
	3 項	児童福祉費		第 節			()													
	13 目	子どもセンター費		()			()													
実施計画掲載ページ			中 事 業	子どもセンター管理費																
事業コード			事 業 名	子どもセンター事業																
目的及び事業内容		<p>児童（児童福祉法上0歳～18歳未満の子ども）に健全な遊びと安心して過ごせる居場所を与え、その健康を増進し、子どもたちの声を運営に反映させるとともに、育成されるよう子どもの社会参加の推進を図るため、遊び・学び・集う場を提供し、子育て支援サークルや子育て中の親に交流の場や子育て支援を行う。</p> <p>また、運動を主とする遊びを通して児童の体力増進や「石巻市子どもの権利に関する条例」に基づく児童の社会参加を推進する事業を実施する。</p>																		
取組実績		<p>1 開設日：祝日及び年末年始以外 2 開設時間：平日9:30～19:00(小学生以下は17:00まで※保護者等の同伴は除く) 土日9:30～17:00</p> <p>3 事業内容 (1) 遊び場・居場所の提供 開設日数 326日 (2) 定期開催事業・イベント 開催回数 226回 (3) 子育て支援関係者の団体利用 利用団体数 288団体</p> <p>4 その他 子どもセンター1周年イベント(H27.1)</p>																		
成 果		<p>当初、1か月あたり1,000人程度の利用を見込んでいたが、その見込みを大きく超える利用があり、定期開催事業では、立町商店街の協力を得ながら実施し、子どもの社会参加が図られた。</p> <p>また、子育て支援講座を開催した結果、新たな子育てサークルが設立された。他自治体からの視察も増加している。</p> <p>利用実績（平成26年4月1日～平成27年3月31日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自 由 来 館</td> <td>21,324人</td> </tr> <tr> <td>定期事業・イベント</td> <td>5,322人</td> </tr> <tr> <td>団 体 利 用</td> <td>4,417人</td> </tr> <tr> <td>見 学</td> <td>137人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31,200人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	合 計	自 由 来 館	21,324人	定期事業・イベント	5,322人	団 体 利 用	4,417人	見 学	137人	合 計	31,200人
区 分	合 計																			
自 由 来 館	21,324人																			
定期事業・イベント	5,322人																			
団 体 利 用	4,417人																			
見 学	137人																			
合 計	31,200人																			
成果に係る評価		<p>子どもセンターの目的として、子どもたちの遊び場や居場所の提供、子育て支援、子どもの社会参加等があり、各事業の実施において、地域やNPO等と連携・協力しながら推進が図られたが、地域活性化を図るためにも継続した事業展開が必要である。センターは「子どもの権利」の実践・啓発の拠点であり、子どもの社会参加事業等、これまでにない事業を実施している。職員は専門性が求められ、これに堪え得る人材の育成・発掘が必要である。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	19,635,000	16,048,554				16,048,554														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	児童福祉費		第 節			(1)	未来の人を育てる
	14 目	東日本大震災関係費		()			(2)	子育て環境の復興
実施計画掲載ページ		P195	中 事 業	渡波地区保育所建設事業費				
事業コード		004-102-001-00517	事 業 名	渡波地区保育所建設事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		<p>震災により被災した渡波保育所については現在、仮設園舎にて保育を行っており、新渡波地区被災市街地復興土地区画整理事業地内に移転新築し、石巻市東部地区の保育需要へ対応する。</p> <p>平成29年4月開園予定。</p> <p>施設規模は70人定員、0歳～5歳児を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター併設 ・敷地面積 約3,514㎡ ・延床面積 1,025.19㎡ 						
取組実績		<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定業務委託料 1,512,000円 ・地質調査業務 1,470,000円 <p>【完成までのスケジュール】 設計業務 H27.4～H27.10 建設工事 H28.2～H29.2 開所 H29.4</p>						
成 果		<p>渡波地区保育所建設事業のための事業計画策定業務及び地質調査業務を行った。</p>						
成果に係る評価		<p>震災復興基本計画実施計画に基づき、渡波地区保育所建設事業を推進し、子育て環境の充実に図っていく。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	110,946,000	2,982,000				2,385,000	597,000	

予算科目	3 11 款	民生費 災害復旧費	総合 計画	第 章		復興 計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 1 項	児童福祉費 厚生労働施設災害復旧費					(1)	未来の人を育てる
	14 1 目	東日本大震災関係費 民生施設災害復旧費					(2)	子育て環境の復興
実施計画 掲載ページ		P196	中 事 業		湊こども園等移転新築事業費（保育所）			
事業コード		004-102-001-00518	事 業 名		湊地区保育所建設事業			
目的及び事業内容		震災により使用不能となった湊こども園を安全の確保された場所へ移転新築する。 津波被害に対する安全性の確保及び子育て支援機能を併設したこども園（1,173.36㎡）として、子育て支援の環境整備を図る。 ※全体計画 鉄筋コンクリート一部4階建2,821.67㎡ 移転新築する総合福祉会館「みなと荘」内に湊こども園（保育所分670.01㎡、幼稚園分503.35㎡）、湊地区放課後児童クラブを配置し、一体的に移転新築を図る。						
取組実績		湊地区保育所建設事業 1 平成24年度 (1) 地質調査業務 工期：平成24年11月13日～平成25年 2月20日 (2) 建設工事設計業務 工期：平成24年11月21日～平成25年 8月30日 2 平成25年度～平成26年度 (1) 湊こども園等複合施設建設工事 工期：平成26年 2月 4日～平成27年 3月27日 (2) 湊こども園等複合施設建設電気設備工事 工期：平成25年12月20日～平成27年 3月27日 (3) 湊こども園等複合施設建設機械設備工事 工期：平成25年12月20日～平成27年 3月27日 (4) 湊こども園等複合施設建設工事監理業務 工期：平成26年 3月31日～平成27年 3月31日						
成 果		建設工事を実施し、平成27年4月の開設に向け湊こども園の移転新築事業の推進を図った。						
成果に係る評価		震災復興基本計画実施計画に基づき、事業を進め、湊こども園建設事業が完了した。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	246,969,370		225,255,740		131,407,000			93,848,740

予算科目	3 11 款	民生費 災害復旧費	総合 計画	第 章		復興 計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 1 項	児童福祉費 厚生労働施設災害復旧費					(1)	未来の人を育てる
	14 1 目	東日本大震災関係費 民生施設災害復旧費					(2)	子育て環境の復興
実施計画 掲載ページ		P196	中 事 業		(仮称)門脇・大街道地区保育所建設事業費			
事業コード		004-102-001-00519	事 業 名		(仮称)門脇・大街道地区保育所建設事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		震災により使用不能となった門脇保育所を、下釜第一地区被災市街地復興土地区画整理事業地内に移転し、近隣保育所との位置関係や蛇田地区の保育需要への対応も考慮する。 防潮堤や高盛土道路による津波の防御や建設予定地北側に高層の復興公営住宅があり避難場所に予定している。 平成29年4月開園予定。施設規模は60人定員、0歳～5歳児を受け入れる。 ・敷地面積 約3,100㎡ ・延床面積 699.80㎡						
取組実績		<ul style="list-style-type: none"> ・用地購入費 37,758,408円（取得面積1,675.9㎡ 13筆） H25繰越 ・地質調査業務 1,290,000円（復興交付金分507,444円、災害復旧分782,556円） 【完成までのスケジュール】 設計業務 H27.2～H27.9 建設工事 H27.12～H28.12 開所 H29.4						
成 果		(仮称)門脇・大街道地区保育所建設事業のための用地購入事業及び地質調査業務の推進を図った。						
成果に係る評価		震災復興基本計画実施計画に基づき、門脇・大街道地区保育所建設事業を推進し、子育て環境の充実を図っていく。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	74,855,556		39,048,408				409,000	38,639,408

予算科目	3 11 款	民生費 災害復旧費	総合 計画	第 章		復興 計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 1 項	児童福祉費 厚生労働施設災害復旧費					(1)	未来の人を育てる
	14 1 目	東日本大震災関係費 民生施設災害復旧費					(2)	子育て環境の復興
実施計画 掲載ページ		P196	中 事 業	雄勝地区保育所建設事業費				
事業コード		004-102-001-00520	事 業 名	雄勝地区保育所建設事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		<p>震災により被災した雄勝保育所について、石巻市震災復興基本計画の雄勝エリア復興整備方針による教育・福祉ゾーンに移転新築し、津波に対する安全性の確保された場所で雄勝地区の保育需要に対応する。</p> <p>平成29年4月開園予定。施設規模は20人定員、0歳～5歳児を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター併設 ・敷地面積 約2,355.22㎡ ・延床面積 588.77㎡ 						
取 組 実 績		<p>【復興交付金対象分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地質調査業務 1,470,000円 ・基本設計業務 120,900円 ・基本計画策定業務 1,080,000円 ・造成設計 3,961,440円 ・用地造成工事 23,473,366円 <p>【災害復旧対象分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務委託料 4,836,000円 <p>【完成までのスケジュール】</p> <p>設計業務 H26.12～H27.9 建設工事 H27.12～H28.12 開所 H29.4</p>						
成 果		雄勝地区保育所建設事業のための地質調査業務、基本計画策定業務、基本設計業務、造成設計業務及び用地造成工事を行った。また、実施設計業務（災害復旧対象分）を行った。						
成果に係る評価		震災復興基本計画実施計画に基づき、雄勝地区保育所建設事業を推進し、子育て環境の充実を図っていく。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	115,782,000		34,166,706				23,464,000	10,702,706

予算科目	3 款	民生費	総合 計画	第 章		復興 計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	3 項	児童福祉費					(1)	未来の人を育てる
	14 目	東日本大震災関係費					(2)	子育て環境の復興
実施計画 掲載ページ		P197	中 事 業	湊こども園等移転新築事業費（放課後児童クラブ）				
事業コード		004-102-003-00672	事 業 名	湊地区放課後児童クラブ専用教室設置事業				
目的及び事業内容		<p>震災により使用不能となった湊こども園移転と併せて湊地区放課後児童クラブを、安全が確保された場所へ移転新築する。</p> <p>また、ゆとりのある専用教室（170㎡）を確保し、子育て支援の環境整備を図る。</p> <p>※全体計画 鉄筋コンクリート一部4階建2,821.67㎡ 移転新築する総合福祉会館「みなと荘」内に湊こども園、湊地区放課後児童クラブを配置し、一体的に移転新築を図る。</p>						
取 組 実 績		<p>放課後児童対策 湊こども園等移転新築事業費（放課後児童クラブ）</p> <p>1 平成24年度</p> <p>(1) 地質調査業務 工期：平成24年11月13日～平成25年 2月20日</p> <p>(2) 建設工事設計業務 工期：平成24年11月21日～平成25年 8月30日</p> <p>2 平成25年度～平成26年度</p> <p>(1) 湊こども園等複合施設建設工事 工期：平成26年 2月 4日～平成27年 3月27日</p> <p>(2) 湊こども園等複合施設建設電気設備工事 工期：平成25年12月20日～平成27年 3月27日</p> <p>(3) 湊こども園等複合施設建設機械設備工事 工期：平成25年12月20日～平成27年 3月27日</p> <p>(4) 湊こども園等複合施設建設工事監理業務 工期：平成26年 3月31日～平成27年 3月31日</p>						
成 果		建設工事を実施し、平成27年4月の開設に向け湊こども園の移転新築事業の推進が図られた。						
成果に係る評価		震災復興基本計画実施計画に基づき、(仮称)湊こども園等の建設事業と一体となって進め、事業が完了した。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	47,213,626		45,885,938		18,527,000			27,358,938

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	4 項	生活保護費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()																									
	2 目	扶助費		(2)	生活保護制度等を適正 に運用する		()																									
実施計画 掲載ページ		P47		中 事 業	各種扶助費																											
事業コード		004-001-002-00123		事 業 名	生活保護事業																											
目的及び事業内容																																
生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。																																
取組実績																																
各種保護の実施																																
1 保護の相談件数 498 件																																
2 保護の開始件数 144 件 194 人																																
3 保護の廃止件数 118 件 160 人																																
成果																																
保護の必要な世帯に対し、国の定める保護基準による最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長が図られた。																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被保護世帯数</td> <td>1,308 世帯</td> <td>1,139 世帯</td> <td>975 世帯</td> <td>1,029 世帯</td> <td>1,072 世帯</td> </tr> <tr> <td>被保護人員</td> <td>1,814 人</td> <td>1,558 人</td> <td>1,307 人</td> <td>1,342 人</td> <td>1,394 人</td> </tr> <tr> <td>保護率</td> <td>11.13 ‰</td> <td>10.12 ‰</td> <td>8.62 ‰</td> <td>8.95 ‰</td> <td>9.36 ‰</td> </tr> </tbody> </table> ※保護率＝保護受給人員÷人口×1,000（単位：‰＝パーミル、千分率） ※年度平均数値										H22	H23	H24	H25	H26	被保護世帯数	1,308 世帯	1,139 世帯	975 世帯	1,029 世帯	1,072 世帯	被保護人員	1,814 人	1,558 人	1,307 人	1,342 人	1,394 人	保護率	11.13 ‰	10.12 ‰	8.62 ‰	8.95 ‰	9.36 ‰
	H22	H23	H24	H25	H26																											
被保護世帯数	1,308 世帯	1,139 世帯	975 世帯	1,029 世帯	1,072 世帯																											
被保護人員	1,814 人	1,558 人	1,307 人	1,342 人	1,394 人																											
保護率	11.13 ‰	10.12 ‰	8.62 ‰	8.95 ‰	9.36 ‰																											
成果に係る評価																																
生活保護は、社会保障において市民生活の最後の切り所であり、市民が安心して暮らせる街づくりを目指し、その充実を図ってきたところである。 生活保護の動向は、近年の経済的・社会的要因から全国的には増加傾向で推移、本市においても震災以前は年々上昇を続けてきたが、震災の影響等により保護世帯数・人員ともに一時減少がみられた。しかし、平成24年度中には再び増加に転じ、以後引き続き増加で推移している。被災地としての本市の状況から、今後、被災者の仮設住宅からの移動等に伴い、更なる増加も見込まれるところである。 以上のことから、引き続き実施体制の整備を図り、被災者の生活再建支援を含め事業を継続するとともに、平成27年度から実施している生活困窮者自立支援事業との連携を検討していく必要がある。																																
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																											
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	2,230,800,000		2,182,808,764		1,630,544,394			552,264,370																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	5 項	災害救助費		第1節	お互いに支えあい生活で きる仕組みを構築する		()	
	1 目	災害救助費		(1)	みんなで支えあう地域 づくりを推進する		()	
実施計画 掲載ページ		P47		中 事 業	災害援護費			
事業コード		004-001-001-00090		事 業 名	災害援護事業			
目的及び事業内容								
【火災見舞金】 火災により被害を受けた市民を援護し、もってその生活の安定に資することを目的とする。 【高齢者世帯災害援護資金】 自然災害により被害を受けた高齢者世帯の住宅復旧を援護し、生活の安定を図ることを目的とする。								
取組実績								
1 火災見舞金								
(1) 支給額等								
ア 弔慰金：(死亡した世帯員1名につき)20万円								
イ 損害見舞金：(全焼・全壊)自家10万円、貸家3万円 (半壊・半焼)自家5万円、貸家2万円 (小損)1万円								
ウ 負傷見舞金：(療養期間2か月以上)4万円 (療養期間1か月以上)1万円								
2 高齢者世帯災害援護資金								
(1) 対象者：以下のいずれにも該当する者								
ア 災害により自らが居住し、かつ所有する市内の住宅に被害を受けた者								
イ 災害時において満65歳以上の者のみの世帯に属する者								
ウ 災害を受けた年度において市民税が課税されていない世帯に属する者								
(2) 支給限度額								
住宅復旧工事に要する費用の2分の1以内、上限20万円								
成果								
被害を受けた市民に対して上記の取り組みを行うことで、微小ながらも、り災者支援を行うことができた。 (平成26年度支給実績) 【火災見舞金】 損害見舞金：(自家全焼)4件、(貸家全焼)1件 支給額計430,000円 【高齢者世帯災害援護資金】 支給件数：9件、支給額1,209,455円								
成果に係る評価								
災害により被害を受けた市民ケアの一助を市として担うためには、本事業を継続する必要がある。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,600,000		1,639,455					1,639,455

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																		
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																		
	2 目	東日本大震災関係費		()		(2)	被災者の健康支援																		
実施計画掲載ページ	P154		中 事 業	被災者生活支援事業費																					
事業コード	002-102-001-00363		事 業 名	心のケア事業																					
目的及び事業内容	震災後に多く発症する、うつ病、孤独死、自殺などを予防するための事業を委託し、精神保健の予防、包括的な地域サポートを実施する。																								
取組実績	<p>ストレスによって心の状態が悪化するのを防ぐために、専門機関に相談して孤立化を防ぐことを推進した。</p> <p>委託先：一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ(活動拠点：からこころステーション)</p> <p>心のサポート拠点事業</p> <p>1 来所、訪問、電話による個別支援</p> <p>(1) 来所相談 延1,447件</p> <p>(2) 訪問 延2,558件</p> <p>(3) 電話相談 延2,490件 計 延6,495件</p> <p>H26年度の相談内容は、不安、抑うつ、不眠、いらいら、無気力の順に多かった。</p> <p>2 乳幼児健診等における、臨床心理士による相談及び事後指導</p> <p>2歳児歯科健診(本庁地区)で、心の健康相談票に基づき実施した。(延149人)</p> <p>3 講演会</p> <p>うつ病、認知症、適正飲酒、職場のメンタルヘルス、子どもの寝め方、叱り方等について要望に応じて地域で実施した。(延72回)</p> <p>4 相談会</p> <p>健康に関する相談会を要望に応じて地域で実施した。また、ハローワークにおける心の相談を実施した。アルコール問題は増加傾向にあるため、その問題を抱える方を対象に回復プログラムを提供し開催した。(延50回)</p>																								
成 果	<p>相談件数は増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">相談件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>2,000件</td> <td>3,819件</td> <td>191.0%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,500件</td> <td>5,697件</td> <td>227.9%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2,500件</td> <td>6,495件</td> <td>259.8%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	相談件数		達成率	目標値	実績等	H24	2,000件	3,819件	191.0%	H25	2,500件	5,697件	227.9%	H26	2,500件	6,495件	259.8%
区分	相談件数		達成率																						
	目標値	実績等																							
H24	2,000件	3,819件	191.0%																						
H25	2,500件	5,697件	227.9%																						
H26	2,500件	6,495件	259.8%																						
成果に係る評価	不安、抑うつ気分等の心身の不調を感じている方の相談件数が増加しており、震災後の心のケアは中長期的になると考えられるため、今後も事業を継続していく必要がある。また、アルコール問題は増加傾向にあり、小集団で回復プログラムや仲間づくりの場を提供することで孤立化を防ぎ、回復に向けた支援を行っているため事業を継続する必要がある。																								
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	41,472,000	41,256,000	41,256,000																						

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																				
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																				
	2 目	東日本大震災関係費		()		(2)	被災者の健康支援																																				
実施計画掲載ページ	P155		中 事 業	被災者生活支援事業費																																							
事業コード	002-102-004-00366		事 業 名	生活不活発病・エコノミー症候群予防事業																																							
目的及び事業内容	被災者の仮設住宅等での活動量低下による生活不活発病やエコノミー症候群を防ぐため、仮設住宅や被災地域等で、健康運動指導士等の指導と運動普及リーダー等の協力による運動教室を実施する。また、運動普及推進のために運動普及リーダー育成研修会を実施するとともに、地域の状況にあわせた健康づくりを推進するために、保健推進員等の地域の支援者を対象とした研修会を実施する。																																										
取組実績	<p>1 仮設住宅等運動教室「元気はなまる運動教室」の開催</p> <p>NPO法人健康応援わくわく元気ネットに講師を依頼し、仮設集会所及び在宅被災者向けとして地域集会所で運動教室を実施した。</p> <p>2 運動普及リーダーの育成と運動の普及</p> <p>(1) 育成研修：ダンベル等運動と生活習慣病予防について普及啓発のための研修会を実施した。(年4回)</p> <p>(2) 運動普及：仮設住宅や各地域で、市民対象に運動普及リーダーの協力を得ながら生活習慣病予防も含め、ダンベル体操等の運動普及を実施した。</p> <p>3 生活不活発病予防検診(下腿深部静脈血栓エコー検査と運動指導)の実施と啓発</p> <p>石巻赤十字病院、わくわく元気ネット、石巻保健所、県リハビリ支援事業者等と共同で、仮設住宅入居者及び在宅被災者に対しエコー検診及び運動指導を実施し、生活不活発病及び生活習慣病の予防についての普及啓発を行うとともに、血栓陽性者には受診勧奨や日常生活での運動指導、健診後のフォローを実施した。(県リハビリ支援事業を活用)</p> <p>4 健康普及育成研修会</p> <p>被災市民を含む地域での健康づくりを推進するため、保健推進員や民生委員等地域の支援者や市民を対象に健康普及育成研修会を実施した。(3会場、187人参加)</p>																																										
成 果	<p>健康運動指導士等の指導と運動普及リーダー等の協力のもと、仮設住宅集会所や在宅被災者向けに地域の集会所で運動教室を開催することで、自主グループが増加し、生活不活発病及び生活習慣病予防についての啓発が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">運動教室等開催回数</th> <th colspan="2">運動教室等参加延人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>65回</td> <td>600人</td> <td>895人</td> <td>149.2%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>38回</td> <td>700人</td> <td>673人</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>57回</td> <td>800人</td> <td>652人</td> <td>81.5%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">生活不活発病予防検診</th> </tr> <tr> <th>開催回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>21回</td> <td>816人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>19回</td> <td>1,049人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>9回</td> <td>662人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	運動教室等開催回数	運動教室等参加延人数		達成率	目標	実績等	H24	65回	600人	895人	149.2%	H25	38回	700人	673人	96.1%	H26	57回	800人	652人	81.5%	区分	生活不活発病予防検診		開催回数	参加延人数	H24	21回	816人	H25	19回	1,049人	H26	9回	662人
区分	運動教室等開催回数	運動教室等参加延人数		達成率																																							
		目標	実績等																																								
H24	65回	600人	895人	149.2%																																							
H25	38回	700人	673人	96.1%																																							
H26	57回	800人	652人	81.5%																																							
区分	生活不活発病予防検診																																										
	開催回数	参加延人数																																									
H24	21回	816人																																									
H25	19回	1,049人																																									
H26	9回	662人																																									
成果に係る評価	被災者が復興公営住宅への入居や自立再建をしていく中、今後は、新しいコミュニティの状況にあわせ、運動普及リーダーや地域の支援者、関係機関と連携しながら、健康増進事業や介護予防として事業を実施していく必要がある。																																										
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	993,087	725,163	725,163																																								

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																							
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																							
	2 目	東日本大震災関係費		()		(2)	被災者の健康支援																																							
実施計画掲載ページ	P156		中 事 業	被災者生活支援事業費																																										
事業コード	002-102-007-00368		事 業 名	口腔ケア対策事業																																										
目的及び事業内容	被災地域における健康支援を図るために、口腔清掃の大切さを理解して口腔機能の低下を予防する口腔ケア対策事業を実施する。																																													
取組実績	<p>宮城県歯科医師会への委託事業として、仮設住宅集会所及び障害福祉サービス事業所の23か所で実施した。</p> <p>1 歯科医師、歯科衛生士による講話 2 正しい歯みがきの仕方、健口体操、唾液腺マッサージの実技指導 3 歯科相談</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">参加人数</td> <td>高齢者（65歳～）</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>一般成人（18～64歳）</td> <td>346人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>男</td> <td>273人</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>参加人数計</td> <td>449人</td> </tr> </table>							区 分	H26	実施回数	23回	参加人数	高齢者（65歳～）	66人	一般成人（18～64歳）	346人	その他	37人	男	273人	女	176人	参加人数計	449人																						
区 分	H26																																													
実施回数	23回																																													
参加人数	高齢者（65歳～）	66人																																												
	一般成人（18～64歳）	346人																																												
	その他	37人																																												
	男	273人																																												
	女	176人																																												
参加人数計	449人																																													
成 果	<p>歯科医院での通院が困難で、口腔衛生指導を受ける機会が少ない障がい者が集まる障害福祉サービス事業所で口腔ケア対策事業を実施することにより、実施回数、参加人数とも増加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">実施回数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">参加人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>24回</td> <td>20回</td> <td>83.3%</td> <td>100人</td> <td>112人</td> <td>112.0%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>30回</td> <td>39回</td> <td>130.0%</td> <td>200人</td> <td>257人</td> <td>128.5%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>24回</td> <td>20回</td> <td>83.3%</td> <td>160人</td> <td>146人</td> <td>91.3%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>30回</td> <td>23回</td> <td>76.7%</td> <td>225人</td> <td>449人</td> <td>200.0%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	実施回数		達成率	参加人数		達成率	目標値	実績等	目標値	実績等	H23	24回	20回	83.3%	100人	112人	112.0%	H24	30回	39回	130.0%	200人	257人	128.5%	H25	24回	20回	83.3%	160人	146人	91.3%	H26	30回	23回	76.7%	225人	449人	200.0%
区分	実施回数		達成率	参加人数		達成率																																								
	目標値	実績等		目標値	実績等																																									
H23	24回	20回	83.3%	100人	112人	112.0%																																								
H24	30回	39回	130.0%	200人	257人	128.5%																																								
H25	24回	20回	83.3%	160人	146人	91.3%																																								
H26	30回	23回	76.7%	225人	449人	200.0%																																								
成果に係る評価	<p>むし歯や歯周疾患による歯の喪失で口腔機能が低下することから、健康で生涯を過ごせるように、正しい歯みがきの方法等について継続して周知する必要がある。</p> <p>仮設集会所への参集が難しいので、必要とされている障害福祉サービス事業所に向いて歯科健診及び歯科相談を実施したところ、参加人数が増加したことから、障害福祉サービス事業所での口腔ケア対策事業を継続する必要がある。</p>																																													
(単位：円)																																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																								
	3,888,000	3,023,000	3,023,000																																											

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																													
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																													
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																													
実施計画掲載ページ	P151		中 事 業	東日本大震災援護費																																																
事業コード	002-101-001-00352		事 業 名	災害弔慰金・災害障害見舞金給付事業																																																
目的及び事業内容	<p>自然災害により死亡した市民の遺族に対する災害弔慰金の支給を行い、また、自然災害により精神又は身体に著しい障害を受けた市民には災害障害見舞金の支給を行うことにより、市民の福祉及び生活の安定に資する。</p>																																																			
取組実績	<p>1 災害弔慰金支給件数及び金額</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 生計維持者 (500万円)</td> <td>6件</td> <td>30,000千円</td> </tr> <tr> <td>(2) その他 (250万円)</td> <td>29件</td> <td>72,500千円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>35件</td> <td>102,500千円</td> </tr> </table> <p>2 災害障害見舞金支給件数及び金額</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 生計維持者 (250万円)</td> <td>支給実績なし</td> </tr> <tr> <td>(2) その他 (125万円)</td> <td>1件 1,250千円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1件 1,250千円</td> </tr> </table>							(1) 生計維持者 (500万円)	6件	30,000千円	(2) その他 (250万円)	29件	72,500千円	小計	35件	102,500千円	(1) 生計維持者 (250万円)	支給実績なし	(2) その他 (125万円)	1件 1,250千円	小計	1件 1,250千円																														
(1) 生計維持者 (500万円)	6件	30,000千円																																																		
(2) その他 (250万円)	29件	72,500千円																																																		
小計	35件	102,500千円																																																		
(1) 生計維持者 (250万円)	支給実績なし																																																			
(2) その他 (125万円)	1件 1,250千円																																																			
小計	1件 1,250千円																																																			
成 果	<p>災害弔慰金については、直接死21件、震災関連死14件、併せて35件を支給したことにより、震災で死亡された方の遺族に対し弔意を示し、市民の福祉・生活の安定に寄与することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">災害弔慰金支給件数</th> <th colspan="3">災害障害見舞金支給件数</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>見込件数</th> <th>実績件数</th> <th>見込件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>3,500 件</td> <td>3,410 件</td> <td>H23</td> <td>1 件</td> <td>4 件</td> <td>400.00 %</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>307 件</td> <td>105 件</td> <td>H24</td> <td>15 件</td> <td>0 件</td> <td>0.00 %</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>305 件</td> <td>18 件</td> <td>H25</td> <td>15 件</td> <td>1 件</td> <td>6.67 %</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>82 件</td> <td>35 件</td> <td>H26</td> <td>15 件</td> <td>1 件</td> <td>6.67 %</td> </tr> </tbody> </table>							災害弔慰金支給件数			災害障害見舞金支給件数			区分	成果指標		区分	成果指標		達成率等	見込件数	実績件数	見込件数	実績件数	H23	3,500 件	3,410 件	H23	1 件	4 件	400.00 %	H24	307 件	105 件	H24	15 件	0 件	0.00 %	H25	305 件	18 件	H25	15 件	1 件	6.67 %	H26	82 件	35 件	H26	15 件	1 件	6.67 %
災害弔慰金支給件数			災害障害見舞金支給件数																																																	
区分	成果指標		区分	成果指標		達成率等																																														
	見込件数	実績件数		見込件数	実績件数																																															
H23	3,500 件	3,410 件	H23	1 件	4 件	400.00 %																																														
H24	307 件	105 件	H24	15 件	0 件	0.00 %																																														
H25	305 件	18 件	H25	15 件	1 件	6.67 %																																														
H26	82 件	35 件	H26	15 件	1 件	6.67 %																																														
成果に係る評価	<p>災害弔慰金の未支給者については、東日本大震災で被災し死亡された方や行方不明者の遺族の確認作業を行い、申請の働きかけを行っているものの、支給実績件数が見込件数より少なくなった。今後も、未支給者の遺族の生存確認等を継続的にを行い、早期の事業完了を目指したい。</p> <p>また、災害障害見舞金の支給実績は1件となったが、同見舞金は負傷または疾病で精神または身体に著しい障害を受けた場合、かつ、その疾病が震災との因果関係がある場合を対象とするものであり、時の経過に比例して減少するものと予想される。</p>																																																			
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	104,162,000	104,161,069	77,812,500				26,348,569																																													

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																						
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																						
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																						
実施計画掲載ページ	P151		中 事 業	東日本大震災援護費																									
事業コード	002-101-001-00353		事 業 名	災害援護資金貸付事業																									
目的及び事業内容	自然災害の被災地域における被災世帯の生活の早期立て直しを図るため、被害を受けた世帯を対象として災害援護資金の貸付を行う。																												
取 組 実 績	<p>1 貸付の対象</p> <p>(1) 被災日（平成23年3月11日）に、石巻市内に居住していた世帯</p> <p>(2) 世帯主が震災で1か月以上の療養期間が必要な負傷を負った世帯又は住居・家財に著しい損害を受けた世帯 ※ 世帯の人数により所得制限がある。</p> <p>2 貸付限度額 150万円～350万円 負傷の程度、損害の種類・程度で貸付限度額が変わる。</p> <p>3 貸付条件 利 率 連帯保証人あり 無利子 連帯保証人なし 据置期間経過後 年1.5% 償還期間 13年(据置期間を含む。) 据置期間 6年(世帯主の死亡や住居が全壊など特別の事情がある場合は8年) 償還方法 月賦・半年賦・年賦(元利均等償還・繰上償還可)</p> <p>4 申請期間 平成23年5月11日から平成30年3月31日まで</p> <p>5 災害援護資金貸付件数及び金額等</p> <p>(1) 貸付件数 50件</p> <p>(2) 貸付金総額 121,430,000円</p> <p>(3) 平均貸付金額 2,428,600円/件</p>																												
成 果	<p>災害援護資金貸付件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>見込件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2,400 件</td> <td>2,380 件</td> <td>99.17 %</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>920 件</td> <td>400 件</td> <td>43.48 %</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>800 件</td> <td>134 件</td> <td>16.75 %</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>800 件</td> <td>50 件</td> <td>6.25 %</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率等	見込件数	実績件数	H23	2,400 件	2,380 件	99.17 %	H24	920 件	400 件	43.48 %	H25	800 件	134 件	16.75 %	H26	800 件	50 件	6.25 %
区分	成果指標		達成率等																										
	見込件数	実績件数																											
H23	2,400 件	2,380 件	99.17 %																										
H24	920 件	400 件	43.48 %																										
H25	800 件	134 件	16.75 %																										
H26	800 件	50 件	6.25 %																										
成果に係る評価	平成23年度から平成26年度まで4ヶ年の貸付件数は2,964件であり、貸付金の利用目的は、住宅の建設・補修が約4割、家財の購入が約3割、自家用車の購入が約2割となっている。平成26年度における50件の貸付金の利用目的は、住宅の建設・補修が約7割を占めており、緊急性の高いものから住宅再建に関するものに移行する傾向にある。今後は区画整理事業、復興公営住宅建設事業等の復興事業の進展に伴う貸付が予想され、本貸付制度が被災世帯の生活再建に寄与するものと思われる。																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	125,065,000	125,063,260	121,430,000			3,633,260																							

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																													
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																													
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																													
実施計画掲載ページ	P153		中 事 業	被災者生活支援事業費																																																
事業コード	002-101-004-00359		事 業 名	被災者生活支援事業																																																
目的及び事業内容	<p>仮設住宅等における相談・生活支援を推進するため、「県地域支え合い体制づくり事業実施要綱」等に基づき、被災者生活支援事業を展開し、東日本大震災による被災者の生活支援を図るもの。</p> <p>1 仮設住宅等サポート拠点整備事業</p> <p>2 仮設住宅等相談・生活支援事業</p>																																																			
取 組 実 績	<p>1 仮設住宅等サポート拠点整備事業</p> <p>被災者及び仮設住宅入居に対し、仮設住宅等におけるサポートセンターを運営するとともに、被災した高齢者等を支援する事業を実施した。</p> <p>(1) 仮設住宅等サポートセンター管理運営事業（ささえあいセンター管理運営事業等）</p> <p>(2) 運動普及育成研修会等事業</p> <p>(3) サポートセンター運営事業（カーシェアリング・サポセン、在宅被災サポセン）</p> <p>(4) 被災者管理システム・情報提供システム保守事業</p> <p>2 仮設住宅等相談・生活支援事業</p> <p>被災者及び仮設住宅入居者に対し、様々な専門職種や関係機関・団体による相談・生活支援事業等を実施した。</p> <p>(1) 社会福祉士等相談支援事業</p> <p>(2) 歯科医師等相談支援事業</p> <p>(3) 看護師等相談支援事業</p> <p>(4) 精神保健福祉等相談支援事業</p> <p>(5) 仮設住宅介護等サポート事業</p> <p>(6) 心のサポート拠点事業（からころステーション）</p> <p>(7) 障害者支援相談員配置事業</p> <p>(8) 高齢者等ケア付き仮設住宅運営事業（あがらいいん）</p> <p>(9) 虐待防止センター設置運営事業（他事業で予算化）</p> <p>(10) その他専門職種の者等による支援事業（保健師、ケースワーカー等）（他事業で予算化）</p> <p>3 その他事業</p> <p>被災者見守りシステム設置事業、包括ケアセンター設置運営事業（他事業で予算化）、復興公営住宅入居者支援事業</p>																																																			
成 果	<p>東日本大震災による被災者及び仮設住宅入居者に対し、仮設住宅等における介護・看護・福祉サービス拠点等を整備運営することにより、被災者の生活支援が図られた。</p> <p>・ささえあいセンター（仮設住宅サポートセンター）利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用件数</th> <th>うち市主催</th> <th>利用者数</th> <th>うち市主催</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本庁地区</td> <td>7,397件</td> <td>991件</td> <td>107,756人</td> <td>13,601人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>1,848件</td> <td>563件</td> <td>26,366人</td> <td>6,759人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>498件</td> <td>182件</td> <td>5,218人</td> <td>1,812人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>1,052件</td> <td>27件</td> <td>10,168人</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>83件</td> <td>6件</td> <td>951人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>352件</td> <td>25件</td> <td>5,485人</td> <td>839人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>328件</td> <td>23件</td> <td>4,234人</td> <td>348人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,558件</td> <td>1,817件</td> <td>160,178人</td> <td>23,694人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	利用件数	うち市主催	利用者数	うち市主催	本庁地区	7,397件	991件	107,756人	13,601人	河北地区	1,848件	563件	26,366人	6,759人	雄勝地区	498件	182件	5,218人	1,812人	河南地区	1,052件	27件	10,168人	206人	桃生地区	83件	6件	951人	129人	北上地区	352件	25件	5,485人	839人	牡鹿地区	328件	23件	4,234人	348人	合計	11,558件	1,817件	160,178人	23,694人
区分	利用件数	うち市主催	利用者数	うち市主催																																																
本庁地区	7,397件	991件	107,756人	13,601人																																																
河北地区	1,848件	563件	26,366人	6,759人																																																
雄勝地区	498件	182件	5,218人	1,812人																																																
河南地区	1,052件	27件	10,168人	206人																																																
桃生地区	83件	6件	951人	129人																																																
北上地区	352件	25件	5,485人	839人																																																
牡鹿地区	328件	23件	4,234人	348人																																																
合計	11,558件	1,817件	160,178人	23,694人																																																
成果に係る評価	東日本大震災による仮設住宅入居者始め被災者を対象とした介護・看護・福祉サービス等の拠点を整備・運営し、専門職種による相談・生活支援事業を行うことにより、被災者の生活支援が図られており、被災者に対する相談・生活支援事業、自立再建に向けた支援事業は、引き続き必要不可欠であり、事業を継続する必要がある。																																																			
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	561,621,000	493,104,200	485,120,000		5,616,000	2,368,200																																														

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																				
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																				
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																				
実施計画掲載ページ	P153		中 事 業	応急仮設住宅管理費																																							
事業コード	002-101-004-00360		事 業 名	応急仮設住宅運営管理補助事業〔復興基金〕																																							
目的及び事業内容	宮城県応急仮設住宅共同施設維持管理等補助交付要綱に基づき、石巻市応急仮設住宅管理推進協議会を設置し、応急仮設住宅の適正な維持管理を図るもの。 協議会の所掌 1 共同利用施設の維持管理 2 入居者の維持管理支援 3 防火安全対策 4 集会所等の維持管理等 など																																										
取組実績	1 経常的経費 (1) 共同利用施設の維持管理 ①外灯、合併処理浄化槽、受水槽、共用盤（テレビアンテナ、屋根裏換気扇）の電気代 ②仮設団地内通路補修等 ③合併処理浄化槽等修繕（汚水ポンプ含む）、テレビアンテナの修繕、排水不良修繕 (2) 入居者の維持管理支援 ①共同アンテナ用配線電柱共架料 ②簡易給水施設等（受水槽）検査 (3) 防火安全対策費及び空き住戸の防犯設置費 ①住宅等鍵交換、外灯設置 (4) その他 ①凍結修繕、個別住戸修繕（カビ修繕含む）、支障木伐採、害虫駆除、駐車場区画線修繕 2 義務的経費 (1) 合併処理浄化槽維持管理経費（法定点検、定期点検、清掃等） 3 団地集約化経費 (1) 応急仮設住宅間移転費（大森団地） ○平成27年3月末応急仮設住宅管理状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本 庁</th> <th>河北総合支所</th> <th>雄勝総合支所</th> <th>河南総合支所</th> <th>桃生総合支所</th> <th>北上総合支所</th> <th>牡鹿総合支所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設住宅</td> <td>4,174</td> <td>847</td> <td>130</td> <td>961</td> <td>331</td> <td>234</td> <td>445</td> <td>7,122</td> </tr> <tr> <td>仮設グループホーム</td> <td>91</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>7</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,265</td> <td>847</td> <td>130</td> <td>961</td> <td>331</td> <td>243</td> <td>452</td> <td>7,229</td> </tr> </tbody> </table>								本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	仮設住宅	4,174	847	130	961	331	234	445	7,122	仮設グループホーム	91					9	7	107	計	4,265	847	130	961	331	243	452	7,229
	本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計																																			
仮設住宅	4,174	847	130	961	331	234	445	7,122																																			
仮設グループホーム	91					9	7	107																																			
計	4,265	847	130	961	331	243	452	7,229																																			
成 果	県補助金を活用し、団地内通路の舗装補修や個別住戸の修繕を含め、応急仮設住宅の共用施設の適正な維持管理が図られた。																																										
成果に係る評価	応急仮設住宅については、6年目の延長が承認され平成29年まで使用するため、引き続き適正な維持管理を行うことが必要不可欠で、事業については継続する必要がある。 供与期間の延長に伴う修繕等については、県で調査を行い修繕することから、軽微な修繕や環境整備等については、県補助金を活用し引き続き市が実施する。電気代や合併処理浄化槽維持管理経費などの義務的経費以外の維持管理については、県と協議しながら進めていく必要がある。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
予算額	112,741,035	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		112,460,280			111,295,771	1,164,509																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																													
	5 項	災害救助費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																													
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																																													
実施計画掲載ページ	P153		中 事 業	災害救助費																																																
事業コード	002-101-004-00360		事 業 名	応急仮設住宅運営管理補助事業（仮設住宅コールセンター業務）																																																
目的及び事業内容	災害救助法に基づき供与された応急仮設住宅及び共用施設について、迅速かつ適切な維持管理を図るため、コールセンターを設置することにより、入居者の利便性の向上を図る。																																																			
取組実績	1 仮設住宅コールセンターの設置状況等 (1) 運用開始日時：平成24年5月1日(火) 午前8時30分 (2) 電話受付時間：午前8時30分から午後8時まで（土日祝日を含む。4回線） (3) 現場対応時間：午前9時から午後6時まで (4) 現場対応体制：3チーム（1チーム2人1組） (5) 委託先：同和興業株式会社（同社内にコールセンター設置） (6) 対応内容等：仮設住宅等の不具合対応（小破修繕）、退去立会、受水槽・浄化槽の管理、害虫駆除等 2 応急仮設住宅入居状況等（平成27年3月末現在） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>本 庁</th> <th>河北総合支所</th> <th>雄勝総合支所</th> <th>河南総合支所</th> <th>桃生総合支所</th> <th>北上総合支所</th> <th>牡鹿総合支所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理戸数</td> <td>4,174</td> <td>847</td> <td>130</td> <td>961</td> <td>331</td> <td>234</td> <td>445</td> <td>7,122</td> </tr> <tr> <td>入居戸数</td> <td>3,394</td> <td>668</td> <td>112</td> <td>733</td> <td>182</td> <td>198</td> <td>394</td> <td>5,681</td> </tr> <tr> <td>入居率</td> <td>81.31%</td> <td>78.87%</td> <td>86.15%</td> <td>76.27%</td> <td>54.98%</td> <td>84.62%</td> <td>88.54%</td> <td>79.77%</td> </tr> <tr> <td>集会所等(プレハブ)</td> <td>71</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>17</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>116</td> </tr> </tbody> </table> ※グループホーム関係 管理戸数 107戸 入居 30戸								本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計	管理戸数	4,174	847	130	961	331	234	445	7,122	入居戸数	3,394	668	112	733	182	198	394	5,681	入居率	81.31%	78.87%	86.15%	76.27%	54.98%	84.62%	88.54%	79.77%	集会所等(プレハブ)	71	7	3	17	3	2	13	116
	本 庁	河北総合支所	雄勝総合支所	河南総合支所	桃生総合支所	北上総合支所	牡鹿総合支所	合計																																												
管理戸数	4,174	847	130	961	331	234	445	7,122																																												
入居戸数	3,394	668	112	733	182	198	394	5,681																																												
入居率	81.31%	78.87%	86.15%	76.27%	54.98%	84.62%	88.54%	79.77%																																												
集会所等(プレハブ)	71	7	3	17	3	2	13	116																																												
成 果	コールセンターを設置することにより、仮設住宅、共同施設の不具合について、迅速な現場対応、適正な維持管理が図られた。 主な依頼対応案件 風除室等の雨漏り、建付、鍵の不具合、網戸 402 件 カビの除去等 9 件 照明器具・換気扇・アンテナ等の不具合 307 件 給湯器、電化製品の不具合 638 件 浄化槽、受水槽関係 67 件 敷地内の不具合（砂利、除草、外灯等） 316 件 防虫、防鼠 230 件 ※平成26年4月から平成27年3月までの総対応件数 3,812 件																																																			
成果に係る評価	平成26年度の仮設住宅及び共同施設の不具合については、給湯器等の不具合や風除室の修繕をはじめ、合計3,812件の修繕依頼に対応しており、一定の事業効果が認められる。 応急仮設住宅は6年目の延長が承認され、平成29年まで使用するため、入居者の生活環境維持管理上、事業を継続する必要がある。																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																			
予算額	97,200,000	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
		96,768,000	96,768,000																																																	

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																				
	5 項	災害救助費		第 節		(2)	住まいの再建																																				
	2 目	東日本大震災関係費		()		(1)	恒久住宅の復旧・復興																																				
実施計画掲載ページ	P161		中 事 業	被災者住宅再建補助事業費																																							
事業コード	002-201-004-00683	事 業 名	被災者住宅再建支援事業〔復興交付金・復興基金〕																																								
目的及び事業内容	東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、被災住宅の再建を行う被災者に対し、住宅再建資金の一部を補助することにより、被災者の負担軽減を図り、本市への定住促進を促す。また、災害危険区域の指定日（平成24年12月1日）前に移転した被災者に対し、国の制度である「がけ地近接等危険住宅移転事業」と同等の支援を行なうことにより、被災者支援の格差の解消を図る。																																										
取組実績	<p>1 東日本大震災被災者住宅再建事業補助金</p> <p>(1) 建設・購入</p> <p>ア 利子補給補助 上限額 300万円</p> <p>イ 取得費用補助 上限額 150万円</p> <p>ウ かさ上げ工事等 上限額 100万円（工事費用の1/2）</p> <p>(2) 補修</p> <p>ア 利子補給補助 上限額 150万円</p> <p>イ 補修費用補助 上限額 100万円（生活再建支援金の加算支援金を控除した金額の1/2）</p> <p>2 東日本大震災被災者危険住宅移転事業補助金</p> <p>(1) 住宅・土地取得等 上限額 786万円</p> <p>3 補助金交付件数及び交付金額</p> <p>(1) 被災者住宅再建事業補助金 交付件数 1,650件 交付金額 3,118,689,000円</p> <p>(2) 被災者危険住宅移転事業補助金 交付件数 25件 交付金額 100,384,000円</p>																																										
成 果	<p>被災者住宅再建資金利子補給事業 補助金交付件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>見込件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24 建設・購入</td> <td>2,000 件</td> <td>373 件</td> <td>18.65 %</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>400 件</td> <td>62 件</td> <td>15.50 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>被災者住宅再建補助事業 補助金交付件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>見込件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25 住宅再建事業</td> <td>7,240 件</td> <td>5,848 件</td> <td>80.78 %</td> </tr> <tr> <td>危険住宅移転事業</td> <td>850 件</td> <td>200 件</td> <td>23.53 %</td> </tr> <tr> <td>H26 住宅再建事業</td> <td>5,180 件</td> <td>1,650 件</td> <td>31.85 %</td> </tr> <tr> <td>危険住宅移転事業</td> <td>25 件</td> <td>25 件</td> <td>100.00 %</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	成果指標		達成率等	見込件数	実績件数	H24 建設・購入	2,000 件	373 件	18.65 %	補修	400 件	62 件	15.50 %	区 分	成果指標		達成率等	見込件数	実績件数	H25 住宅再建事業	7,240 件	5,848 件	80.78 %	危険住宅移転事業	850 件	200 件	23.53 %	H26 住宅再建事業	5,180 件	1,650 件	31.85 %	危険住宅移転事業	25 件	25 件	100.00 %
区 分	成果指標		達成率等																																								
	見込件数	実績件数																																									
H24 建設・購入	2,000 件	373 件	18.65 %																																								
補修	400 件	62 件	15.50 %																																								
区 分	成果指標		達成率等																																								
	見込件数	実績件数																																									
H25 住宅再建事業	7,240 件	5,848 件	80.78 %																																								
危険住宅移転事業	850 件	200 件	23.53 %																																								
H26 住宅再建事業	5,180 件	1,650 件	31.85 %																																								
危険住宅移転事業	25 件	25 件	100.00 %																																								
成果に係る評価	被災者の住宅再建及び国の制度との格差解消に寄与してきたが、沿岸部から内陸部への移転に伴う地価高騰及び建築資材の高騰等の要因もあり、平成26年度の達成率は低調なものとなった。今後も一定程度の住宅建設や購入が見込まれるため、本事業を継続的に実施するとともに、補助金の交付状況等を分析し検討した結果、市内での更なる定住支援策について、平成27年4月1日より補助上限額の見直し等、同補助金交付内容の拡充を実施することとした。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
予算額	3,293,523,000	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		3,293,521,867			3,278,084,000	15,437,867																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																																					
	5 項	災害救助費			(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																																					
	2 目	東日本大震災関係費			(2)	被災者の健康支援																																																																					
実施計画掲載ページ	P155		中 事 業	被災者生活支援事業費																																																																							
事業コード	002-102-003-00691	事 業 名	まちの保健室事業																																																																								
目的及び事業内容	街なかの人が集まりやすい商業大型店舗等を会場に、買い物ついでに気軽に相談や健康チェックができる場である「まちの保健室」を定期的に設け、看護職による血管年齢や体脂肪、血圧等の測定及び健康相談を実施し、健康の悪化予防及び自立した健康的な生活への一助とすることを目的とする。H26年度から月4回（年48回）を計画し、主に民間賃貸住宅や在宅被災者の集まりやすい会場として蛇田、万石浦、大街道の3か所で実施する。																																																																										
取組実績	<p>1 委託先：宮城県看護協会</p> <p>2 実施内容：個々に血管年齢測定・肌年齢測定・体脂肪測定・血圧測定等の健康チェック、健康相談、こころの相談等を実施し、継続相談者には健康手帳の配付を行った。</p> <p>3 実施場所：3か所（イオンモール石巻月2回、イオンセンター石巻東店月1回、ヨークベニマル大街道店月1回）</p> <p>4 実施回数：月4回 47回</p> <p>5 スタッフ：コーディネーター（看護師）、相談員（保健師・看護師）、相談員補助</p>																																																																										
成 果	<p>利用者の内訳を見ると被災者が約7割で、再来所者が全体の半数以上を占め、新規での利用者も増えており、地域の定期的な相談場所として定着し、9割以上の利用者から事業継続の希望が出されている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">開催回数</th> <th colspan="3">参加人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">延べ事業者数</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>延人数</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>月3回</td> <td>28回</td> <td>1,800人</td> <td>1,681人</td> <td>93.3%</td> <td>182人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>月4回</td> <td>47回</td> <td>2,400人</td> <td>2,340人</td> <td>97.5%</td> <td>285人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26の利用者の約7割が被災者、また、約7割が女性である。</p> <p>内訳)</p> <p>(1) イオンモール石巻</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延人数</th> <th>実人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>月2回</td> <td>22回</td> <td>1,549人</td> <td>727人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>月2回</td> <td>24回</td> <td>1,624人</td> <td>729人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※イオンモールでは、ダンベル体操や口腔ケア、食に関する講話など健康づくりの啓発も実施した。</p> <p>(2) イオンスーパーセンター石巻東店</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延人数</th> <th>実人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>月1回</td> <td>6回</td> <td>132人</td> <td>90人 H25.10月から</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>月1回</td> <td>12回</td> <td>318人</td> <td>139人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ヨークベニマル大街道店</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> <th>延人数</th> <th>実人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>月1回</td> <td>11回</td> <td>398人</td> <td>236人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	開催回数	参加人数			達成率	延べ事業者数	目標	延人数	実人数	H25	月3回	28回	1,800人	1,681人	93.3%	182人	H26	月4回	47回	2,400人	2,340人	97.5%	285人	年度	開催回数	延人数	実人数	備考	H25	月2回	22回	1,549人	727人	H26	月2回	24回	1,624人	729人	年度	開催回数	延人数	実人数	備考	H25	月1回	6回	132人	90人 H25.10月から	H26	月1回	12回	318人	139人	年度	開催回数	延人数	実人数	備考	—	—	—	—		H26	月1回	11回	398人	236人
年度	開催回数	参加人数			達成率	延べ事業者数																																																																					
		目標	延人数	実人数																																																																							
H25	月3回	28回	1,800人	1,681人	93.3%	182人																																																																					
H26	月4回	47回	2,400人	2,340人	97.5%	285人																																																																					
年度	開催回数	延人数	実人数	備考																																																																							
H25	月2回	22回	1,549人	727人																																																																							
H26	月2回	24回	1,624人	729人																																																																							
年度	開催回数	延人数	実人数	備考																																																																							
H25	月1回	6回	132人	90人 H25.10月から																																																																							
H26	月1回	12回	318人	139人																																																																							
年度	開催回数	延人数	実人数	備考																																																																							
—	—	—	—																																																																								
H26	月1回	11回	398人	236人																																																																							
成果に係る評価	利用者のアンケート調査結果からも、買い物をしながら気軽に健康相談や健康チェックができることから、6～7割が健康や食事等の生活習慣を改善する機会となり、また、高血圧などの受診のきっかけになる等、定期的に自分の健康管理に活用されていたことが分かった。被災者の健康管理のために、今後も事業の継続が必要である。																																																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																																																										
予算額	9,060,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
		7,603,200	7,603,000			200																																																																					

予算科目	3 款	民生費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す										
	5 項	災害救助費		第 節			(2)	住まいの再建										
	2 目	東日本大震災関係費		()			(1)	恒久住宅の復旧・復興										
実施計画掲載ページ		P162	中 事 業		復興公営住宅等移転支援事業費													
事業コード		002-201-004-00927	事 業 名		復興公営住宅等移転支援事業〔復興基金〕													
目的及び事業内容		東日本大震災により自ら居住していた住宅に被害を受けた者が応急仮設住宅等（みなし仮設住宅を含む）の応急一時的な住まいから復興公営住宅、民間賃貸住宅等の恒久的な住まいへの移転（市内での転居又は市外からの転入に限る。）を促し、応急仮設住宅の早期解消と被災者の再建を推進することを目的とし、応急仮設住宅等（みなし仮設住宅を含む）から市内の復興公営住宅、民間賃貸住宅等へ移転（引越し）し、応急仮設住宅等の退去（明渡し）の手続きが完了した場合に補助金（定額10万円）を交付する。																
取組実績		<p>平成26年7月より、応急仮設住宅の早期解消と被災者の再建を推進することを目的として「復興公営住宅等移転補助金」の事業を実施している。</p> <p>石巻市復興公営住宅等移転補助事業 復興公営住宅等へ移転し、応急仮設住宅等へ移転した世帯に対し、一律10万円</p> <p>支給件数 130 件 支給額 13,000,000 円</p>																
成 果		<p>今年度は、復興公営住宅の入居時期が年度末だったこともあり、実績件数が見込件数を大きく下回ったものの、応急仮設住宅からの退去費用の負担軽減が図られた。</p> <p>補助金交付件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>見込件数</th> <th>実績件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,500 件</td> <td>130 件</td> <td>8.67 %</td> </tr> </tbody> </table>							年度	成果指標		達成率等	見込件数	実績件数	H26	1,500 件	130 件	8.67 %
年度	成果指標		達成率等															
	見込件数	実績件数																
H26	1,500 件	130 件	8.67 %															
成果に係る評価		今後も応急仮設住宅から復興公営住宅等への円滑な移転を促進するため、本事業を継続する必要がある。																
（単位：円）																		
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳														
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
		13,027,000	13,015,942			13,000,000	15,942											